

CONFERENCE LOCATOR

第24回 日本バーチャルリアリティ学会大会
THE 24TH ANNUAL CONFERENCE OF THE VIRTUAL REALITY SOCIETY OF JAPAN

11-13 SEPTEMBER 2019, THE UNIVERSITY OF TOKYO, JAPAN

VR

TOKYO



大会長挨拶



第24回大会長

苗村 健

第24回大会は、2019年(令和元年)9月11日(水)～13日(金)に、東京大学本郷キャンパスで開催します。

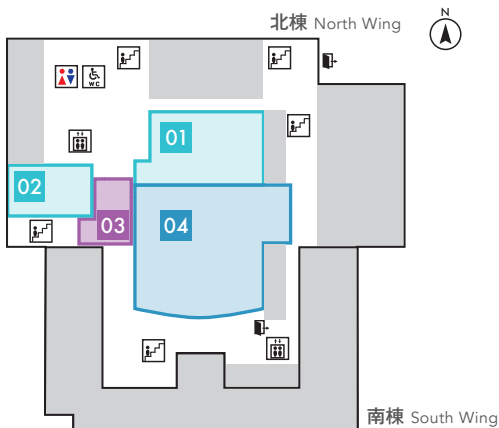
首都圏での開催は、第1回の国立オリンピック記念青少年総合センター、第7回の東京国際交流館プラザ平成、第10回の東京大学、第14回の早稲田大学、第17回の慶應義塾大学、第20回の芝浦工業大学に続く7回目になります。

東京大学では、2000年に情報学環・学際情報学府が、2001年に情報理工学系研究科が設立され、情報分野の連携が深まる中で2005年の大会が開催されました。「まさにこれから」という機運がありました。それ以降はご承知の通り、当学会の発展が下支えとなって、2016年にはVR元年と呼ばれるほどの社会的ブームが起きました。これを受けて、東京大学でも2018年に「東京大学バーチャルリアリティ教育研究センター」が設立されました。

今回は、ポスターセッションの拡充など、研究者同士の対話の機会を増やす方向を模索しています。また、稲見昌彦先生がGeneral Chairを務められるICAT-EGVEとの同時開催です。これまでの伝統の継承と、新たな時代に向けた試みの両輪をバランスよく取り入れていくことで、当学会をさらなる高みに導けるよう尽力していく所存です。

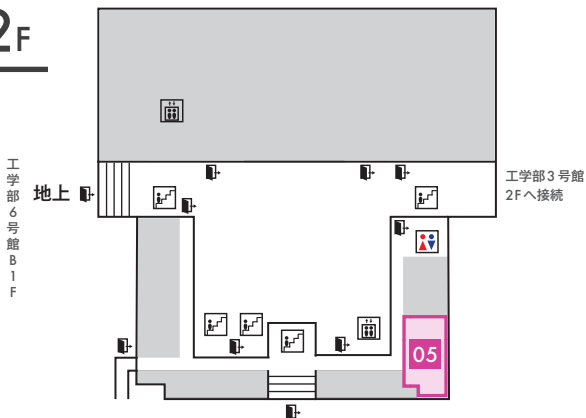
7回目の首都圏・2回目の東大の新たな試みに、ぜひご注目ください。

1F



- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 01 A室 VRSJAC room A | 03 受付 Registration desk |
| 02 B室 VRSJAC room B | 04 講演会場 Main hall |

2F



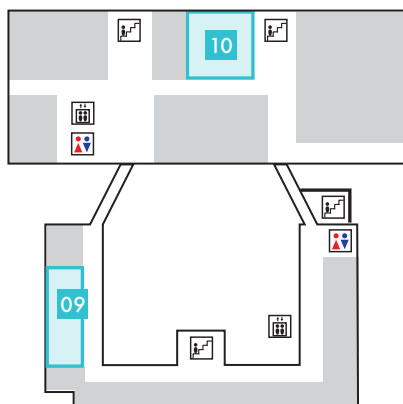
- | |
|---|
| 05 デモ会場F室, ICATポスター会場 Poster room, Demo room F |
|---|

3F



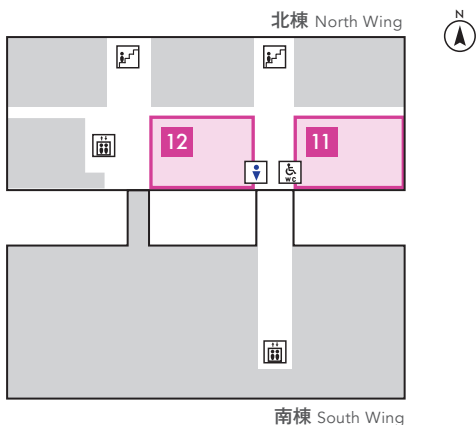
- 06** ポスター・デモ会場C室 VRSJAC poster and demo room C
- 07** ポスター・デモ会場D室, ICATデモ会場 Demo room, VRSJAC poster and demo room D
- 08** デモ会場E室 VRSJAC demo room E

4F













- 09** C室 VRSJAC room C
- 10** D室 VRSJAC room D

9F



11 ポスター・デモ会場A室 VRSJAC poster and demo room A

12 ポスター・デモ会場B室 VRSJAC poster and demo room B

	登壇発表		階段
	講演・ICAT		エレベーター
	受付		トイレ
	ポスター・デモ会場		多目的トイレ
	IVRC 会場		出入口

3F



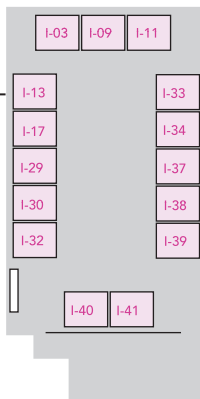
13 IVRC 会場 A 室 IVRC room A

14 IVRC 会場 B 室 IVRC room B

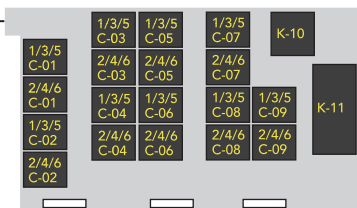
15 IVRC 会場 C 室 IVRC room C

ポスターマップ

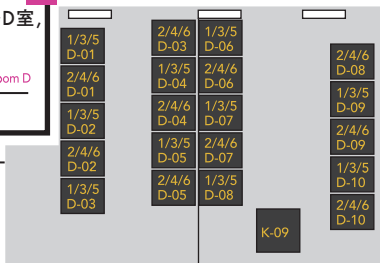
05
デモ会場F室,
ICATポスター会場
 Poster room, Demo room F
 工学部2号館2階



06
ポスター・デモ会場C室
 VRSJAC poster and demo room C
 工学部2号館3階



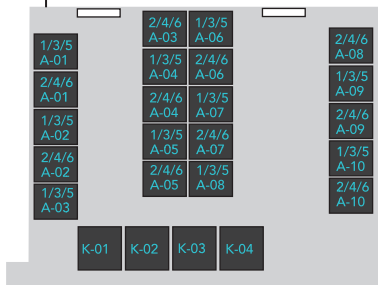
07
ポスター・デモ会場D室,
ICATデモ会場
 Demo room,
 VRSJAC poster and demo room D
 工学部2号館3階



ポスター・デモ会場A室

VRSJAC poster and demo room A

工学部2号館9階



ポスター・デモ会場B室

VRSJAC poster and demo room B

工学部2号館9階

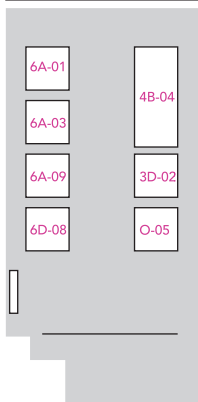


デモ展示マップ

05 デモ会場F室, ICATポスター会場

Poster room, Demo room F

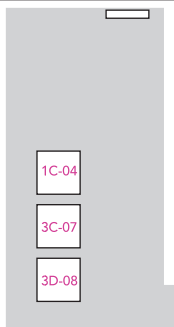
工学部2号館2階



08 デモ会場E室

VRSJAC demo room E

工学部2号館3階



06 ポスター・デモ会場C室

VRSJAC poster and demo room C

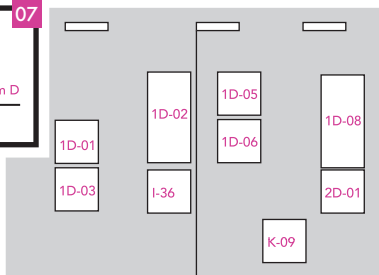
工学部2号館3階



07 ポスター・デモ会場D室, ICATデモ会場

Demo room,
VRSJAC poster and demo room D

工学部2号館3階

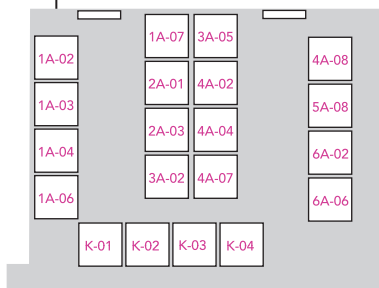


デモ展示マップ

ポスター・デモ会場A室

VRSJAC poster and demo room A

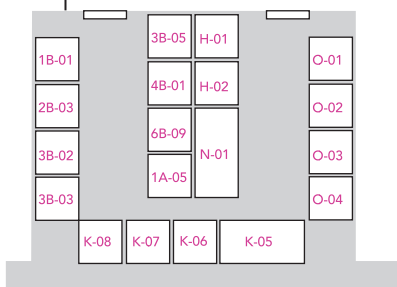
工学部2号館9階



ポスター・デモ会場B室

VRSJAC poster and demo room B

工学部2号館9階



タイムスケジュール

第 24 回 VR 学会大会

口頭発表
(登壇発表・ポスター発表)

会場	登壇会場 A 室	登壇会場 B 室	登壇会場 C 室	
	ポスター会場 A 室	ポスター会場 B 室	ポスター会場 C 室	
9/11 (水)	8:30-			受付 (2号館 1F)
	9:00-10:00			オープニング 基調講演1 (2号館 1F 講演会場)
	10:00-10:15			
	10:15-10:45	ハプティクス — 擬似力覚 / 深部刺激	1A 身体拡張	1B 立体・ 空中ディスプレイ
	10:45-11:15	2A ハプティクス — 硬軟感 / 衝撃の触感	2B ハプティクス — 運動・姿勢 / 触覚と感情	2C 身体認知
	11:15-11:30			
	11:30-12:00	3A ハプティクス — 触覚提示 / 力覚提示	3B ハプティクス — コミュニケーション	3C ディスプレイ デバイス / オプティクス
	12:00-12:30	4A ハプティクス — 摩擦 / なぞりの触感	4B 感覚変容・ 行動変容	4C VR 心理
	12:30-14:00			ランチョンセミナー 1
	14:00-14:45	1A ハプティクス — 擬似力覚 / 深部刺激	1B 身体拡張	1C 立体・ 空中ディスプレイ
	14:45-15:30	2A ハプティクス — 硬軟感 / 衝撃の触感	2B ハプティクス — 運動・姿勢 / 触覚と感情	2C 身体認知
	15:30-16:00			
	16:00-16:45	3A ハプティクス — 触覚提示 / 力覚提示	3B ハプティクス — コミュニケーション	3C ディスプレイ デバイス / オプティクス
	16:45-17:30	4A ハプティクス — 摩擦 / なぞりの触感	4B 感覚変容・ 行動変容	4C VR 心理
	17:30-18:00			
	18:00-19:30			テクニカルツアー (東京大学 本郷キャンパス内)

第 24 回 VR 学会大会		IVRC 2019	ICAT - EGVE 2019
口頭発表 (登壇発表・ポスター発表)	企業展示		
登壇会場 D 室 ポスター会場 D 室	デモ会場 A-F 室	IVRC 会場 A-C 室 (6号館 3F) ポスター会場 A-D 室	講演会場 ポスター会場 デモ会場

受付 (2号館 1F)		Registration (1F)	
オープニング 基調講演 1 (2号館 1F 講演会場)		Opening Keynote 1	
Short break			
メディア・デザイン 1D	企業展示	ポスター (ポスター会場)	Session 1 (10:15 - 11:45)
体験シミュレータ / 嗅覚・味覚 2D			
複合現実感・ エンタテインメント 3D			
アニメーション / エージェント 4D			
Lunch break			
メディア・デザイン 1D	企業展示	ポスター (ポスター会場)	Session 2 (14:00 - 15:20)
体験シミュレータ / 嗅覚・味覚 2D			
複合現実感・ エンタテインメント 3D			
アニメーション / エージェント 4D			
Coffee break			
メディア・デザイン 1D	企業展示	ポスター (ポスター会場)	Poster session (Poster room)
体験シミュレータ / 嗅覚・味覚 2D			
複合現実感・ エンタテインメント 3D			
アニメーション / エージェント 4D			
Coffee break			
テクニカルツアー (東京大学 本郷キャンパス内)		Technical tour (Hongo Campus, The University of Tokyo)	

タイムスケジュール

		第24回 VR学会大会		
		口頭発表 (登壇発表・ポスター発表)		
会場		登壇会場 A 室	登壇会場 B 室	登壇会場 C 室
		ポスター会場 A 室	ポスター会場 B 室	ポスター会場 C 室
9/12 (木)	9:00-10:00	基調講演2 (2号館1F 講演会場)		
	10:00-10:15			
	10:15-10:45	ハプティクス 一温冷覚 5A	身体心理	5B 行動計測/ コンピュータビジョン 5C
	10:45-11:15	ハプティクス 一触覚転移/巧緻な操作 6A	歩行・移動 6B	視覚心理 6C
	11:15-11:30			
	11:30-13:00	ランチョンセミナー2		
	13:00-13:45	ハプティクス 一温冷覚 5A	身体心理	5B 行動計測/ コンピュータビジョン 5C
	13:45-14:30	ハプティクス 一触覚転移/巧緻な操作 6A	歩行・移動 6B	視覚心理 6C
	14:30-15:00			
	15:00-16:30	特別講演 (2号館1F 講演会場)		
	16:30-17:00	協賛企業紹介/表彰式 (2号館1F 講演会場)		
	17:00-18:00			
18:00-20:30	懇親会 (神田明神ホール)			
9/13 (金)	9:00-10:00	基調講演3 (2号館1F 講演会場)		
	10:00-10:15			
	10:15-12:15	OS 7A 2020の身体性	VRアーカイブ OS 7B とVR美術・歴史教育	OS 7C ギラギラ夏祭り2019 ~颯けるVR~成果発表セッション
	12:15-13:45	ランチョンセミナー3		
	13:45-15:45			
	15:45-16:00	OS 8C アート・デザイン を取り巻く未来の 「研究会」のかたち (15:30 - 16:30)		
	16:00-17:00	OS 3A ARToolKit 20周年 記念講演	VRという夢 OS 8B	
17:00-18:00	IVRC 表彰式 OS			

第 24 回 VR 学会大会			IVRC 2019	ICAT - EGVE 2019
口頭発表 (登壇発表・ポスター発表)	技術芸術展示・ OS 展示・ ICAT 展示	企業展示		
登壇会場 D 室	デモ会場 A-F 室		IVRC 会場 A-C 室 (6号館 3F) ポスター会場 A-D 室	講演会場 ポスター会場 デモ会場
ポスター会場 D 室				

基調講演 2 (2号館 1F 講演会場)			Keynote 2	
訓練・ シミュレーション	5D	展示	Session 3 (10:00-11:20)	
医療・看護・ スポーツ	6D		Lunch break	
訓練・ シミュレーション	5D		ポスター (2号館 ポスター会場)	
医療・看護・ スポーツ	6D		Session 4	
			Coffee break	
特別講演 (2号館 1F 講演会場)			Invited talk	
協賛企業紹介 / 表彰式 (2号館 1F 講演会場)				
懇親会 (神田明神ホール)			Banquet (Kanda Myojin Hall)	

基調講演 3 (2号館 1F 講演会場)			Keynote 3	
テレマージョン 技術の変遷と今後の動向	OS 7D	展示	Short break	
展示			10:00 - 12:00 審査	Session 5 (10:15 - 11:45)
展示コアタイム			12:00 - 15:45 一般公開 (6号館 IVRC 会場)	Lunch break
				Demo session
高齢者運転事故問題 と VR	OS 8D	表彰式 (登壇会場 C 室)	Closing	

夢を生きる



池谷 裕二

東京大学 教授

1989年東京大学理科一類入学。1998年に東京大学大学院薬学系研究科で博士号を取得し、コロンビア大学客員研究員を経て2014年より現職。脳の可塑性・脳の潜在的な能力の大きさを研究テーマとし、サイエンス、ネイチャー姉妹誌、米国科学アカデミー紀要ほか多くの学術誌で論文が掲載されている。文部科学大臣表彰若手科学者賞、日本学術振興会賞、日本学士院学術奨励賞などを受賞。『進化しすぎた脳』『海馬 脳は疲れない』など一般向けの著書多数。

9月11日（水）9:00-10:00

1階 講演会場

Creative a Conceptual Design Thinking with three Design disciplines: Product, Interaction, and Service



Chien-Hsu Chen

国立成功大学 教授

Professor, National Cheng Kung University

Chien-Hsu Chen received the B.S. degree in industrial design from the National Cheng Kung University (NCKU), Taiwan, in 1987, and the master and Ph.D. degrees in computer & information science from Syracuse University, USA, industrial engineering from University of Texas at Arlington, USA, in 1992 and 1996, respectively. In 1996, he joined the Department of Industrial Design, Chang Kung University, as a Lecturer, and in 1997 became an assistant professor at Craft & Design Department of National Taiwan University of Arts. Since August 1998, he has been with the Department of Industrial Design, NCKU, where he was an assistant Professor, became an associate Professor in 2004, and a Professor in 2014. His research interests include ergonomics and interaction design, augmented reality application. He is a Life Member of the Ergonomic Society of Taiwan (EST), and the Taiwan Institute of Kansei (TIK). He was the Chairman of Industrial Design department at National Cheng Kung University from 2010 to 2013. From February 2015 to July 2016, he was the business dept. deputy of Research and Services Headquarters (RSH) at NCKU in Taiwan. On August 2016, he has in sabbatical leave for one year and he is the visiting researcher of Research Center for Advanced Science and Technology at University of Tokyo in Japan. Since August 2017, he is the Director general of Technology Transfer & Business Incubation Center (TTBIC) at NCKU in Taiwan.

9月12日 (木) 9:00-10:00

1階 講演会場

How Niantic AR Unites People and Reality



川島 優志

Niantic, Inc.

アジア統括本部長 エグゼクティブプロデューサー

2013年、Googleの社内スタートアップとして発足したNiantic LabsのUX/Visual Designerとして参画、『Ingress』のビジュアル及びユーザーエクスペリエンスデザインを担当。2015年10月にNiantic, Inc. の設立と同時に、アジア統括本部長に就任。『ポケモンGO』では、開発プロジェクトの立ち上げを担当。早稲田大学を中退後、2000年に渡米。ロサンゼルスでの起業、デザインプロダクション勤務を経て、2007年にGoogleへ入社。アジア太平洋のウェブデザインチームを統括、日本人としては世界で初めて「Doodle」をデザイン。東日本大震災時はクライシスレスポンスウェブチームを立ち上げた。2011年、米Google本社に移籍し、コンシューマープロダクトウェブデザインのグローバルチームを統括。

9月13日（金）9:00-10:00

1階 講演会場

特別講演

Invited talk

テレイグジスタンス

—着想からTELESAR VIまで40年の道のり



舘 暲

東京大学 名誉教授

東京大学名誉教授、工学博士、日本バーチャルリアリティ学会初代会長。専門はロボット学とバーチャルリアリティ学。1980年、世界で初めてテレイグジスタンスの概念を提唱、以来その実現のための研究を行う。テレイグジスタンスのほかにも、盲導犬ロボット、再帰性投影技術、触原色、裸眼立体VRなどの独創的な研究で世界に知られる。IEEE Virtual Reality Career Award、通商産業大臣賞、文部科学大臣賞をはじめ各賞を受賞。また、1993年には、国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト(IVRC)を創始した。『バーチャルリアリティー入門』『ロボット入門 つくる哲学・つかう知恵』『Telexistence』など、著書多数。

9月12日(木) 15:00-16:30

1階 講演会場

特別講演

Invited talk

VR教育研究センターと サービスVR研究の夜明け



廣瀬 通孝

東京大学 教授

東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻教授。同大学VR教育研究センター センター長。主にシステム工学、ヒューマンインタフェースの研究に従事。CABINやデジタルミュージアムなどの高品位VR環境の研究開発を行う。工学博士。1996年、日本バーチャルリアリティ学会の設立に貢献し、会長を務めたのち現在同学会特別顧問。東京テクノフォーラムゴールドメダル賞などを授賞。主な著書は、『技術はどこまで人間に近づくか』（PHP研究所）、『バーチャル・リアリティー』（産業図書）、『バーチャルリアリティー』（オーム社）、『電脳都市の誕生』（PHP研究所）など。

9月12日（木）15:00-16:30

1階 講演会場

ランチョンセミナー

9月11日（水） 12:30～14:00

A室

デル株式会社

9月12日（木） 11:30～13:00

A室

GREE VR Studio Lab

9月13日（金） 12:15～13:45

A室

株式会社日本HP

テクニカルツアー

日時 9月11日（水） 18:00～19:30

場所 東京大学 本郷キャンパス内にある
所定の研究所・研究室（徒歩圏内）

懇親会

日時 9月12日（木） 18:00～20:30

会場 神田明神ホール

ハプティクス—擬似力覚/深部刺激

A室

9/11 (水) 登壇発表 10:15-10:45 ポスター発表 14:00-14:45

1A-01 運動錯覚惹起のための振動刺激周波数と腱固有振動数の関係

○久保 拓夢(名古屋大学大学院), 小村 啓(名古屋大学大学院), 本多 正計(静岡県工業技術研究所 沼津工業技術支援センター), 大岡 昌博(名古屋大学大学院情報科学研究科)

1A-02 非対称振動の周波数成分間の位相差に基づく牽引力錯覚の特性

○田辺 健(産業技術総合研究所), 矢野 博明(筑波大学), 遠藤 博史(産業技術総合研究所), 井野 秀一(産業技術総合研究所), 岩田 洋夫(筑波大学)

展示有

1A-03 多点同時振動刺激による運動錯覚の増強

○牛山 奎悟(電気通信大学), 田中 叡(電気通信大学), 高橋 哲史(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

展示有

1A-04 腱振動刺激による運動錯覚を用いた動かないハプティックインタフェースの予備的検討

○田中 叡(電気通信大学), 牛山 奎悟(電気通信大学), 高橋 哲史(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

展示有

1A-05 臀部皮膚せん断刺激を用いた個人差を考慮した傾斜感覚の提示

○矢内 智大(東北大学), 堀江 新(東京大学), 昆陽 雅司(東北大学), 田所 諭(東北大学)

展示有

1A-06 背部にひずみ分布を提示する回転接触子アレイの基礎的検討

○堀江 新(東京大学工学系研究科先端学際工学専攻), 稲見 昌彦(東京大学先端科学技術研究センター)

展示有

1A-07 平面ディスプレイの移動による擬似力覚の生成に関する研究

○大西 悠貴(東北大学電気通信研究所), 高嶋 和毅(東北大学電気通信研究所), 藤田 和之(東北大学電気通信研究所), 北村 喜文(東北大学電気通信研究所)

展示有

1A-08 VR 消防体験 -炎舞-

○伊藤 弘一郎(筑波大学), 小嶋 才蔵(筑波大学), 細谷 佳生(筑波大学), 天野 靖大(筑波大学), 内山 敬太(筑波大学), 亀沢 和史(筑波大学), 佐々木 勇星(筑波大学), 福田 哲生(筑波大学), 松尾 大地(筑波大学), 児玉 拓郎(筑波大学)

IVRC

VR 学会大会 講演プログラム詳細

1A-09 筋電気刺激におけるモーターポイント推定による触覚提示の有効性

○石丸 嵩也(熊本大学大学院), 嵯峨 智(熊本大学大学院)

1A-10 経皮的神経電気刺激における複数電極対の高速スイッチングによる選択的深部刺激手法の提案

○高橋 哲史(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

展示有

身体拡張

B 室

9/11 (水) 登壇発表 10:15-10:45 ポスター発表 14:00-14:45

1B-01 首の触知覚を用いたナビゲーションシステムの提案

○山崎 勇祐(東京工業大学大学院, グリー株式会社), 白井 暁彦(グリー株式会社)

展示有

1B-02 拡張身体への応用を目指したVR環境上の裂ける手による自己受容感覚の変容

○貝塚 涼(高知工科大学), 繁樹 博昭(高知工科大学)

1B-03 視覚器と身体の対応を変えたバーチャル身体に対する認知行動の可塑性

○谷 大和(豊橋技術科学大学), 杉本 麻樹(慶應義塾大学), 稲見 昌彦(東京大学), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学)

1B-04 雰囲気制御のための環境音変換手法の基礎的検討

○平田 祐登(東京大学), 竹内 俊貴(東京大学), 谷川 智洋(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

1B-05 自信声フィードバックによる緊張緩和手法の提案: クラウドソーシングを利用した自信声加工パラメータの推定

○成瀬 加菜(東京大学), 吉田 成朗(東京大学), 高道 慎之介(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 谷川 智洋(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

1B-06 兎にも角にも

○北脇 裕次郎(神奈川工科大学), 鈴木 謙太(神奈川工科大学), 阿部 洸也(神奈川工科大学), 白井 颯(神奈川工科大学), 小木 嘉原(神奈川工科大学), 保坂 一樹(神奈川工科大学), 片野 遥斗(神奈川工科大学), 高野 真衣(神奈川工科大学), 長瀬 一生(神奈川工科大学), 土師 隆嗣(神奈川工科大学), 仲澤 勇人(神奈川工科大学), 伊藤 亮哉(神奈川工科大学)

IVRC

VR 学会大会 講演プログラム詳細

1B-07 もっちゃぶる

○浅田 風太(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科), 谷地 卓(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科)

1B-08 きになるき

○下林 秀輝(東京大学大学院 情報理工学系研究科), 荒川 陸(東京大学大学院 情報理工学系研究科), 岡本 直樹(東京大学大学院 学際情報学府), 神宮 亜良太(東京大学 工学部)

IVRC

1B-09 超・呼吸体験: VRearth

○山村 風子(慶應義塾大学大学院), 堀井 玲耶(慶應義塾大学大学院)

IVRC

立体・空中ディスプレイ

C室

9/11 (水) 登壇発表 10:15-10:45 ポスター発表 14:00-14:45

1C-01 Design of Freeform Lens for Portable Mid-air Imaging System

○金 四維(東京大学大学院 情報理工学系研究科), 横瀬 哲也(東京大学大学院 学際情報学府), 阪口 紗季(東京大学大学院 情報学環), 苗村 健(東京大学大学院 情報理工学系研究科, 東京大学大学院 学際情報学府, 東京大学大学院 情報学環)

1C-02 対称ミラー構造を用いたテーブルトップ空中像ディスプレイ

○横瀬 哲也(東京大学大学院 学際情報学府), 阪口 紗季(東京大学大学院 情報学環), 苗村 健(東京大学大学院 学際情報学府, 東京大学大学院 情報学環)

展示有

1C-03 周期運動する実素材を用いたリアリスティックな3次元ディスプレイの試作

○朝比奈 怜(東京工業大学), 吉田 貴寿(マサチューセッツ工科大学), 渡辺 義浩(東京工業大学)

1C-04 楕円球面スクリーンに投影された顔画像による視線方向の伝達

○一居 太郎(東京工業大学), 三武 裕玄(東京工業大学), 長谷川 晶一(東京工業大学)

展示有

1C-05 1000volumes/s高速体積型ディスプレイ用光学系の基礎評価

○鈴木 康平(群馬大学), 春原 岳(群馬大学), 奥 寛雅(群馬大学)

1C-06 高速HMDのための1000volumes/s高速体積型ディスプレイ原理の提案

○奥 寛雅(群馬大学), 鈴木 康平(群馬大学), 春原 岳(群馬大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

1C-07 レイトレーシング法を用いた再帰透過光学系の再現のための基礎検討

○木内 舜司(電気通信大学), 佐野 文香(電気通信大学), 小泉 直也(電気通信大学, 科学技術振興機構 さきがけ)

1C-08 形状変化が可能な広視野角フルバラックス立体空中像の検討

○室伏 皓太(電気通信大学), 橋本 直己(電気通信大学)

1C-09 空中超音波による浮遊平面の方向制御

○笠井 匠(東京大学), 古本 拓朗(東京大学), 藤原 正浩(東京大学), 牧野 泰才(東京大学), 篠田 裕之(東京大学)

メディア・デザイン

D室

9/11(水) 登壇発表 10:15-10:45 ポスター発表 14:00-14:45

1D-01 対話型授業により受講者の同調を促す没入型講義システムの提案

○田澤 美智子(明治大学), 福地 健太郎(明治大学)

展示有

1D-02 落語初心者向けに仮想落語家体験を提供するバーチャル高座システムの提案

○湯浅 賢悟(明治大学), 福地 健太郎(明治大学)

展示有

1D-03 大人数仮想キャラクターの表情デフォルメによる視認性向上手法の提案およびプレゼンテーション練習システムへの応用

○和田 穂那(明治大学), 福地 健太郎(明治大学)

展示有

1D-04 プログラミング教育向けeLearningにおける顔アニメーションアバターとボイスチェンジャーの影響

○謝れくす(神奈川工科大学), 白井 暁彦(グリー株式会社), 佐藤 尚(神奈川工科大学)

1D-05 VRジャーナリズムにおける表現手法の研究

○青木 悠(慶應義塾大学)

展示有

VR 学会大会 講演プログラム詳細

1D-06 棚ぼたデザイン：思いがけない幸運を意図的に起こす手法の提案

○等力 桂(早稲田大学), 橋田 朋子(早稲田大学)

展示有

1D-07 文化財 VR コンテンツの鑑賞が類似文化の受容や印象に及ぼす影響

○土居 巧果(早稲田大学大学院 基幹理工学研究科 表現工学専攻), 河合 隆史(早稲田大学大学院 基幹理工学研究科 表現工学専攻), 中村 直靖(凸版印刷株式会社 文化事業推進本部), 黒田 敏敏(凸版印刷株式会社 文化事業推進本部), 内山 悠一(凸版印刷株式会社 文化事業推進本部)

1D-08 バーチャルキャラクタを活用した地方創生の形

くまモン(東京大学 先端科学技術研究センター, 熊本県), 工藤 龍(東京大学 UT-Virtual), 廣島 靖秀(東京大学 UT-Virtual), 竹下 俊一(東京大学 UT-Virtual), ○檜山 敦(東京大学 先端科学技術研究センター)

展示有

1D-09 「あそび」を捉え直すためのハッカソンのデザイン

○阪口 紗季(東京大学大学院情報学環), 安斎 勇樹(東京大学大学院情報学環), 松井 克文(東京大学大学院学際情報学府), 会田 大也(東京大学大学院情報学環), 苗村 健(東京大学大学院情報学環, 東京大学大学院学際情報学府)

1D-10 視覚的違和感を用いた行動誘発型展示システム

○大橋 敢(東京大学), 沼田 俊之(東京大学), 矢田 浩章(東京大学), 吉田 成朗(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 谷川 智洋(東京大学), 葛岡 英明(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

ハプティクスー硬軟感 / 衝撃の触感

A室

9/11(水) 登壇発表 10:45-11:15 ポスター発表 14:45-15:30

2A-01 打撃感提示のための物理モデルによる衝突振動の再現 - 剛性パラメータを反映した振動生成と硬軟感の評価 -

○高橋 洋一郎(東北大学), 昆陽 雅司(東北大学), 田所 諭(東北大学)

展示有

2A-02 鐘撞き VR における振動刺激による衝突時の力触覚提示

○高木 周平(名城大学), 新美 将太郎(名城大学), 岩田 賢樹(名城大学), 那須 龍平(名城大学), 柳田 康幸(名城大学)

2A-03 各種の周波数域受動性を持つ VC の触覚提示

○池田 智泰(福井大学), 川井 昌之(福井大学), 橋詰 直樹(福井大学), 黒田 智也(福井大学)

展示有

VR 学会大会 講演プログラム詳細

2A-04 測定反力と提示反力の誤差を最小化する柔軟物体モデリングの2次元数値実験による検討

○鈴木 裕也(東北学院大学), 佐瀬 一弥(東北学院大学)

2A-05 湾曲型アレイ電極を用いた刺激面積変化による硬軟感提示に関する検討

○神山 直樹(法政大学大学院), 望月 典樹(法政大学), 稲生 太一(法政大学大学院), 中村 壮亮(法政大学)

2A-06 運動する柔軟球による硬平板の表現

○竹内 将大(電気通信大学), 村田 華蓮(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

2A-07 餅つき体験システムにおける杵の沈み込み感提示のための計測と評価

○森 湧翔(名城大学大学院), 渡辺 久馬(名城大学大学院), 岩田 将幸(名城大学大学院), 河合 秀樹(名城大学大学院), 中野 拓哉(名城大学), 柳田 康幸(名城大学)

2A-08 低遅延杖型触覚提示デバイスの開発および性能評価

○下澤 弾(筑波大学), 濱崎 愛(筑波大学), 杉浦 裕太(慶應義塾大学), 橋本 悠希(筑波大学)

2A-09 撃力提示装置の提示力向上手法の検討

○池田 尚登(熊本大学), 嵯峨 智(熊本大学)

ハプティクス—運動・姿勢/触覚と感情

B室

9/11(水) 登壇発表 10:45-11:15 ポスター発表 14:45-15:30

2B-01 座位・立位時の下肢運動提示による歩行感覚表現

○山岡 憲太郎(首都大学東京), 小出 蓮(首都大学東京), 池井 寧(首都大学東京), YEM VIBOL(首都大学東京), 雨宮 智浩(東京大学), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学)

2B-02 足底力覚提示による運動認識に関する検討

○大谷 拓也(早稲田大学), 高西 淳夫(早稲田大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

2B-03 超ローアングル全周動画の視聴姿勢に関する研究

○遠藤 広樹(東京工芸大学), 遠藤 雅伸(東京工芸大学)

展示有

2B-04 Re:born ~生まれる体験出産VR~

○木村 正子(北陸先端科学技術大学院大学), 藤井 綺香(東京大学), 星 宏侑(北陸先端科学技術大学院大学), 田丸 黎(北陸先端科学技術大学院大学), 宮内 涼将(北陸先端科学技術大学院大学), 朝倉 一希(東京工業大学), 鈴木 章大(東京工業大学), 坪井 理人(明治大学)

IVRC

2B-05 匣内ルービックキューブ

○藤川 司(熊本県立大学)

IVRC

2B-06 空中超音波触覚提示による快感覚の誘起

○津本 海(東京大学), 松本 大知(東京大学), 藤原 正浩(東京大学), 牧野 泰才(東京大学), 篠田 裕之(東京大学)

2B-07 リラックス状態への誘導システム「Healing VR」の製作と誘導効果の検討

○岩下 直人(九州大学), 上岡 玲子(九州大学)

2B-08 振動付与による柔軟物体の硬度変化の検討

○下川 和俊(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科)

2B-09 メリーさんの電話

○鈴永 紗也(大阪大学), 川崎 祐太(大阪大学), 西村 賢人(大阪大学), 岸 楓馬(大阪大学), 北川 玲音(大阪大学), 桑山 佳汰(大阪大学), 角谷 星哉(大阪大学)

IVRC

身体認知

C室

9/11(水) 登壇発表 10:45-11:15 ポスター発表 14:45-15:30

2C-01 ダミーカーソル環境における動的視野制限法を用いた自身のカーソル探索時の視野範囲調査

○相澤 裕貴(明治大学), 渡邊 恵太(明治大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

2C-02 ダミーカーソル環境における受動操作時の自身のカーソル特定と実験システムの構築

○佐藤 大輔(明治大学), 相澤 裕貴(明治大学), 渡邊 恵太(明治大学)

2C-03 自己身体がマイクロサッカーへ及ぼす影響

○松宮 一道(東北大学)

2C-04 バーチャル身体基点の空間知覚の検討

○長町 和弥(豊橋技術科学大学), 上田 祥代(豊橋技術科学大学), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学)

2C-05 Liquid Hand Illusion: 液体に対する身体所有感の生起に関する調査

○小柳 陽光(豊橋技術科学大学)

2C-06 足の動作に連動するバーチャルハンドを用いた身体認知の研究

○佐々木 智也(東京大学), 齊藤 寛人(東京大学), 脇坂 崇平(東京大学), 檜山 敦(東京大学), 稲見 昌彦(東京大学)

2C-07 おかえり感覚

○山本 佳奈(東京芸術大学), 山本 尚弥(関東学院大学)

IVRC

2C-08 蝨刺青

○鈴木 蒼生(東北大学電気通信研究所), 遠藤 勇(東北大学電気通信研究所), 市川 将太郎(東北大学電気通信研究所), 大坂 侑平(東北大学電気通信研究所), 邸 家輝(東北大学電気通信研究所), 丹野 隆幸(東北大学電気通信研究所), 土田 太一(東北大学電気通信研究所), 泉 健太(東北大学工学部) IVRC

体験シミュレータ / 嗅覚・味覚

D室

9/11(水) 登壇発表 10:45-11:15 ポスター発表 14:45-15:30

2D-01 流水装置と連動した薬傷事故体感VR

○杉江 駿(愛知工科大学), 宮本 侑都(愛知工科大学), 小林 勇輝(愛知工科大学), 佐藤 邦男(アジアクリエイイト株式会社), 板宮 朋基(愛知工科大学)

展示有

VR 学会大会 講演プログラム詳細

2D-02 認知症がもたらす記憶障害の視野外VR空間操作による再現

○上田 悠人(関西学院大学)

展示有

2D-03 ながらスマホの危険性を評価する自転車シミュレータの開発

○名倉 成輝(兵庫県立大学), 大野 暢亮(兵庫県立大学), 田村 祐一(甲南大学), 内田 勇人(兵庫県立大学)

2D-04 歩行中のスマートグラス使用が視覚的注意に及ぼす影響

○宗 健智(東京大学), 九鬼 慧太(東京大学), ハウタサーリアリ(東京大学), 福嶋 政期(東京大学, 科学技術振興機構), 苗村 健(東京大学)

2D-05 液滴霧化装置を用いた20成分調合型嗅覚ディスプレイの開発

○安田 雄大(東京工業大学), 中本 高道(東京工業大学)

2D-06 食品への動的質感付加が食体験に与える効果の検討

○鈴木 佑司(東京大学大学院情報理工学系研究科), 鳴海 拓志(東京大学大学院情報理工学系研究科), 谷川 智洋(東京大学大学院情報理工学系研究科), 廣瀬 通孝(東京大学大学院情報理工学系研究科)

2D-07 嗅覚及び力覚インタフェースを用いた卓球リフティングゲームの開発と評価

○呂 翹楚(東京工業大学), 赤羽 克仁(東京工業大学), 中本 高道(東京工業大学)

ハプティクス—触覚提示 / 力覚提示

A室

9/11(水) 登壇発表 11:30-12:00 ポスター発表 16:00-16:45

3A-01 自然な把持操作を実現する7自由度ワイヤ駆動型力覚提示装置の提案

○赤羽 克仁(東京工業大学), 中本 高道(東京工業大学)

3A-02 釣竿を用いたハプティクスデバイスの開発

○内藤 大樹(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

展示有

VR 学会大会 講演プログラム詳細

3A-03 対向噴流を用いた非接触型力覚提示装置の開発

○内山 敬太(筑波大学), 矢野 博明(筑波大学), 岩田 洋夫(筑波大学)

3A-04 永久磁石の貼り付けによる振動触覚提示システムの検討

○鶴重 誠(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科), Peiris Roshan(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科), 南澤 孝太(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科)

3A-05 ウェアラブルな複数触覚提示システム Haptiple の基礎検討

○前田 智祐(豊田中央研究所), 倉橋 哲郎(豊田中央研究所)

展示有

3A-06 機械刺激と電気刺激の組み合わせによる触覚提示の強調(第二報): 感覚の質に関する評価

○水原 遼(電気通信大学), 高橋 哲史(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

3A-07 吸引圧に対する皮膚知覚感度の増強-吸引孔配置が刺激閾に及ぼす影響-

○斉藤 薫(東北大学), 昆陽 雅司(東北大学), 坂口 歳斗(資生堂グローバルイノベーションセンター), 荒川 尚美(資生堂グローバルイノベーションセンター)

3A-08 超低周波音圧変化を用いた非接触型触覚提示

○柄沢 未希子(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

3A-09 適度な知覚のための振動検出閾値と刺激量の関係

○佐久間 瑞季(名古屋工業大学), 鬼頭 勇氣(名古屋工業大学), 田中 由浩(名古屋工業大学), 河島 則天(国立障害者リハビリテーションセンター研究所), 吉川 雅博(大阪工業大学)

ハプティクスーコミュニケーション

B室

9/11(水) 登壇発表 11:30-12:00 ポスター発表 16:00-16:45

3B-01 ほおずり電話

○真鍋 光希(電気通信大学), 加藤 敬太(電気通信大学), 木村 信人(電気通信大学), 高見 太基(電気通信大学)

IVRC

VR 学会大会 講演プログラム詳細

3B-02 多人数の触覚共有のための無線触覚伝送キットの提案

○早川 裕彦(慶應義塾大学), 神山 洋一(慶應義塾大学), 南澤 孝太(慶應義塾大学)

展示有

3B-03 広範囲にわたる振幅と周波数の振動を用いた常時触覚通信

○小野寺 将(東京工業大学), 三岳 裕玄(東京工業大学), 長谷川 晶一(東京工業大学), Panut Wibulpolprasert(東京工業大学), Alfonso Balandra Antelis(東京工業大学)

展示有

3B-04 顔面への空中超音波照射による触覚および骨導音知覚

○水谷 沙耶(東京大学大学院新領域創成科学研究科), 藤原 正浩(東京大学大学院新領域創成科学研究科), 牧野 泰才(東京大学), 篠田 裕之(東京大学)

3B-05 Study on Telexistence XCV: Telexistence Telediagnosis Platform based on Mixed Reality and Biosignal Display Devices

○付 俊凱(東京大学), 井上 康之(東京大学), 加藤 史洋(東京大学), 舘 暉(東京大学)

展示有

3B-06 遠隔共同作業のための搭乗感覚共有システムに関する研究

川崎 祐太(首都大学東京), ○森田 翼(首都大学東京), YEM VIBOL(首都大学東京), 雨宮 智浩(東京大学), 池井 寧(首都大学東京)

3B-07 触覚ステルスゲーム「シノピアシ」

○真鍋 光希(電気通信大学), 加藤 敬太(電気通信大学), 木村 信人(電気通信大学), 高見 太基(電気通信大学)

IVRC

ディスプレイデバイス/オプティクス

C室

9/11(水) 登壇発表 11:30-12:00 ポスター発表 16:00-16:45

3C-01 可搬全立体角没入ディスプレイ Mobile Large Space の設計手法と実装

○平岩 匡(筑波大学), 圓崎 祐貴(筑波大学), 矢野 博明(筑波大学), 岩田 洋夫(筑波大学)

3C-02 同軸光学系による映像と紫外線の同時投影に向けた可視・紫外光投影プロジェクタの開発

○平木 剛史(大阪大学, 東京大学), 岩井 大輔(大阪大学), 川原 圭博(東京大学), 佐藤 宏介(大阪大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

3C-03 フォトクロミズムと高速光軸制御による発色型ファブリケーションに向けた動的描画システム
○三河 祐梨(東京大学), 末石 智大(東京大学), 早川 智彦(東京大学), 石川 正俊(東京大学)
3C-04 複数台のPCを用いた無人展示用VRシステムの設計
○田中 克明(合同会社Yspace, 早稲田大学), 松広 航(合同会社Yspace, 早稲田大学), 日高 萌子(合同会社Yspace, 慶應義塾大学), 川崎 吾一(合同会社Yspace)
3C-05 ウォークスルーに最適な全方位画像表現の提案
○河合 直樹(大日本印刷株式会社)
3C-06 広視野光学シースルー型HMDの開発
○Imamura Tatsuya(大阪工業大学), 中泉 文孝(大阪工業大学)
3C-07 ワイコン球面鏡を用いた光学シースルー HMDの収差補償の評価
○犬飼 悟(岐阜大学)
展示有
3C-08 測定による再帰光学素子の解像性能評価
○伊藤 賢矢(岐阜大学)
展示有
3C-09 液体可変焦点レンズと高速プロジェクタを用いたダイナミックフォーカシング投影の基礎検討
○徐 鴻金(東京工業大学), 王 立輝(東京大学), 渡辺 義浩(東京工業大学), 石川 正俊(東京大学)
3C-10 2層構造の鉛による食品の直接付与に安定で高反射率の食べられる再帰性反射材
○佐藤 美子(群馬大学), 金子 愛(群馬大学), 奥 寛雅(群馬大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

複合現実感・エンタテインメント

D室

9/11 (水) 登壇発表 11:30-12:00 ポスター発表 16:00-16:45

3D-01 安全な「歩きVR」を支援する空間切り替え制御機構の設計と実装

○小沢 健悟(東京大学)

展示有

3D-02 Experiential Introduction About Objects Using AR-VR system

○高 翔一(慶應義塾大学大学院), 小木 哲朗(慶應義塾大学)

展示有

3D-03 バーチャル空間でつかまえて

○小川 敬也(大阪大学), 長濱 愛珠咲(大阪大学), 谷本 識心(大阪大学), 小川 和樹(大阪大学)

IVRC

3D-04 受信者の状態に応じた部分情報を重畳するARゲームの提案

○河盛 真波(立命館大学), 島田 伸敬(立命館大学)

3D-05 Tabletop ARrietty

○市川 将太郎(東北大学), 鈴木 蒼生(東北大学), 邱 家輝(東北大学), 遠藤 勇(東北大学), 大坂 侑平(東北大学), 丹野 隆幸(東北大学), 土田 太一(東北大学), 泉 健太(東北大学)

IVRC

3D-06 涙腺ダム

○奥田 健嗣(京都産業大学), 青木 結香(京都産業大学), 北村 武也(京都産業大学), 渡辺 隼也(京都産業大学)

IVRC

3D-07 博物館の考古学展示における拡張現実の活用

○泉川 真理南(琉球大学), 赤嶺 有平(琉球大学), 根路銘 もえ子(沖縄国際大学)

3D-08 人型立体物を用いた映像表現

○永野 佳孝(愛知工科大学), 杉森 順子(桜美林大学)

展示有

VR 学会大会 講演プログラム詳細

ハプティクス—摩擦/なぞりの触感

A室

9/11 (水) 登壇発表 12:00-12:30 ポスター発表 16:45-17:30

4A-01 VR空間上で提示された布に触れた際の質感変化

○佃 吉央(大阪電気通信大学大学院), 小枝 正直(大阪電気通信大学大学院)

4A-02 視触覚同時提示時に求められる一貫性(第3報)-精細テクスチャにおける許容範囲の検討-

○山口 瞬(電気通信大学), 金子 征太郎(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

展示有

4A-03 画像特徴量を利用した触覚振動表現における重み付け変化の影響に関する検討

○黒木 詢也(熊本大学), 嵯峨 智(熊本大学)

4A-04 異なる皮膚状態の触感再現に関する研究

○張 建堯(電気通信大学), 小林 優人(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学), 松森 孝平(株式会社資生堂), 齋藤 直輝(株式会社資生堂)

展示有

4A-05 非接触触覚提示による離散点刺激と連続刺激の類似度比較

○森崎 汰雄(東京大学), 藤原 正浩(東京大学), 牧野 泰才(東京大学), 篠田 裕之(東京大学)

4A-06 指紋を有する指先のStick-Slipシミュレーション

○田川 和義(愛知工科大学, 立命館大学), 井垣 友貴(立命館大学), 田中 弘美(立命館大学)

4A-07 ウェアラブル回転円筒型接触子によるなぞり感覚の再現

○原茂 帆乃夏(首都大学東京), YEM VIBOL(首都大学東京), 池井 寧(首都大学東京)

展示有

4A-08 表面粗さ感提示に向けた音波による平板振動生成

○岡本 裕大(関西学院大学), 山崎 陽一(関西学院大学), 井村 誠孝(関西学院大学)

展示有

VR 学会大会 講演プログラム詳細

4A-09 LABNIRSによるVHI発生時の脳賦活状態の計測

○小杉 宏明(名古屋大学大学院), 大岡 昌博(名古屋大学大学院情報科学研究科),
小村 啓(名古屋大学大学院)

感覚変容・行動変容

B室

9/11(水) 登壇発表 12:00-12:30 ポスター発表 16:45-17:30

4B-01 微細環境下で感覚・運動機能を拡張するための指先装着型デバイス

○大伏 仙泰(東京大学), 廣瀬 雅治(東京大学), 脇坂 崇平(東京大学), 笠原 俊一
(東京大学), 檜山 敦(東京大学), 稲見 昌彦(東京大学)

展示有

4B-02 作業に集中したいを叶えるタスク指定スイッチとその周辺に視界を限定するメガネ

○那須 美早(早稲田大学), 橋田 朋子(早稲田大学)

4B-03 良姿勢習慣化システムの構築に向けた着座姿勢の推定手法と補助インタフェースの検討

○桑畑 健吾(九州大学大学院 芸術工学府), 伊藤 雄一(大阪大学大学院 情報科学研究科), 上岡 玲子(九州大学大学院 芸術工学研究科)

4B-04 視線情報に基づき主観的現実の自動操作を行うシステムの検証

○伊藤 大智(東京大学), 高原 慧一(東京大学), 坂本 凜(東京大学), 泉原 厚史(東京大学), 脇坂 崇平(東京大学), 檜山 敦(東京大学), 稲見 昌彦(東京大学)

展示有

4B-05 バーチャルハンドを用いた自動運転車における行為主体感の生起

○近藤 駿介(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 谷川 智洋(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

4B-06 運動融合共有身体によるリーチング行動の解析

○萩原 隆義(豊橋技術科学大学), 杉本 麻樹(慶應義塾大学), 稲見 昌彦(東京大学), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学)

4B-07 VR空間中の旋回移動のための気流提示手法に関する研究

○鈴木 勇仁(首都大学東京), YEM VIBOL(首都大学東京), 広田 光一(電気通信大学), 雨宮 智浩(東京大学), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学), 池井 寧(首都大学東京)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

4B-08 アンビエントサイネージによるペクシオンを用いた歩行者の行動誘発

○沼田 俊之(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 谷川 智洋(東京大学), 葛岡 英明(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

4B-09 チョコレート工場

○和田 佳奈恵(熊本県立大学)

IVRC

4B-10 N-KOKUDO

○川崎 祐太(大阪大学), 鈴永 紗也(大阪大学), 西村 賢人(大阪大学), 岸 楓馬(大阪大学), 北川 玲音(大阪大学), 桑山 佳汰(大阪大学), 角谷 星哉(大阪大学)

IVRC

VR 心理

C室

9/11(水) 登壇発表 12:00-12:30 ポスター発表 16:45-17:30

4C-01 VR体験における足底振動の効果に関する研究

○梨木 玲穂(首都大学東京), YEM VIBOL(首都大学東京), 雨宮 智浩(東京大学), 池井 寧(首都大学東京)

4C-02 Cybersicknessのリアルタイム予測

○曲木 拓朗(公立ほこだて未来大学), Vallance Michael(公立ほこだて未来大学)

4C-03 特定方向への視線の維持がVR酔いに与える影響

○三浦直樹(芝浦工業大学大学院理工学研究科, 国立研究開発法人産業技術総合研究所), 氏家弘裕(国立研究開発法人産業技術総合研究所), 大倉典子(国立研究開発法人産業技術総合研究所, 中央大学大学院理工学研究科), 木村 昌臣(国立研究開発法人産業技術総合研究所, 芝浦工業大学工学部)

4C-04 座位重心動揺を用いた臨場感の量的評価に関する研究

○奥野 帆香(富山県立大学), 木下 史也(富山県立大学), 唐山 英明(富山県立大学)

4C-05 身体感覚と視覚情報にずれが生じる低遅延没入環境におけるフレームレートが人へ与える影響

○栃岡陽麻里(東京大学), 早川 智彦(東京大学), 門脇 拓也(東京大学), 池田 遼(東京大学), 石川 正俊(東京大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

4C-06 一対比較法を用いた蛇の回転錯視の補償パラメータチューニング

○久保田 祐貴(東京大学大学院), 早川 智彦(東京大学大学院), 深山 理(東京大学大学院), 石川 正俊(東京大学大学院)

4C-07 オカダンゴムシに走光性はあるのか? -昆虫用運動補償装置を用いた光刺激強度に対する走光性の評価

○川野 雄基(京都産業大学大学院 先端情報学研究科), 大槻 圭一(京都産業大学大学院 先端情報学研究科), 阿部 真人(理化学研究所 革新知能統合研究センター), 永谷 直久(京都産業大学大学院 先端情報学研究科), 志垣 俊介(大阪大学基礎工学研究科), 藤澤 隆介(九州工業大学 情報工学研究院システム創成情報工学系)

アニメシー / エージェント

D室

9/11 (水) 登壇発表 12:00-12:30 ポスター発表 16:45-17:30

4D-01 THE WALKING NEKKO

○渡辺 凌大(関西学院大学), 浅沼 侑真(関西学院大学), 武田 大成(関西学院大学), 藤田 聡太(関西学院大学)

IVRC

4D-02 ねご放題～もふもふを求めて～

○後藤 慶多(慶應義塾大学), 飯森 優斗(慶應義塾大学), 奥谷 哲郎(慶應義塾大学)

IVRC

4D-03 生物感を伴うバーチャルハグシステムとコンテンツ管理システムの構築

○下林 秀輝(東京大学大学院 情報理工学系研究科), 柴田 佳祐(京都大学大学院 情報学研究科), 登石 拓磨(京都大学大学院 情報学研究科)

4D-04 VRテレカウンセリングに基づくセラピスト-クライアント間インタラクションに関する評価

中川 聡(東京大学), 三枝 弘幸(東京大学), 遠藤 凌河(東京大学), 成瀬 加菜(東京大学), Lem Wey Guan(東京大学), 國吉 康夫(東京大学)

4D-05 ヒューマンロボットインタラクションにおけるロボット動作のVR映像によるユーザの印象評価の有効性

○伊豆井 尊宗(東京農工大学), Venture Gentiane(東京農工大学)

4D-06 自分の分身として仮想空間内を案内・紹介するキャラクターエージェントの開発手法の提案

○松田 康生(大阪工業大学), 矢野 浩二郎(大阪工業大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

4D-07 VGenEditor: 操作部位と空間目標点を動作表現として用いたインタラクティブキャラクタの動作生成

○佐藤 裕仁(東京工業大学), 三武 裕玄(東京工業大学), 杉森 健(東京工業大学), 長谷川 晶一(東京工業大学)

4D-08 自律エージェントとインタラクションができるVRプラットフォームの作製

○小栗 賢章(東京工業大学), 三武 裕玄(東京工業大学), 杉森 健(東京工業大学), 長谷川 晶一(東京工業大学)

ハプティクスー温冷覚

A室

9/12(木) 登壇発表 10:15-10:45 ポスター発表 13:00-13:45

5A-01 刺激の提示面積が温冷感覚誤認現象に与える影響の分析

○奥川 夏輝(立命館大学大学院), 橋口 哲志(龍谷大学), 松室 美紀(立命館大学), 柴田 史久(立命館大学), 木村 朝子(立命館大学)

5A-02 水流を用いた大面積温度ディスプレイの提示温度と面積に関する評価

○坂口 正道(名古屋工業大学), 梶河 拓真(名古屋工業大学)

5A-03 ペルチェ素子を用いた温熱覚提示装置の開発

○川田 涼馬(北見工業大学大学院), 橋本 泰成(北見工業大学大学院)

5A-04 空中ミストの制御による遠隔冷覚提示

○中島 允(東京大学大学院新領域創成科学研究科), 牧野 泰才(東京大学大学院新領域創成科学研究科), 篠田 裕之(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

5A-05 風を用いた温冷覚刺激による人体への影響

○小笠原 健太郎(名古屋工業大学), 坂口 正道(名古屋工業大学)

5A-06 空気流による高速応答非接触温度提示

○久米 祐一郎(東京工芸大学), 田中 智貴(東京工芸大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

5A-07 レーザ光による熱放射を利用した触覚ディスプレイの提示制御の改善

○嵯峨 智(熊本大学)

5A-08 タブレット用ペン型冷温覚提示デバイスの開発

○久保 泰奈(東京理科大学), 邊田 智美(東京理科大学), 佐藤 誠(東京工業大学), 原田 哲也(東京理科大学)

展示有

5A-09 ひらひらワープ

○木村 美月(熊本県立大学)

IVRC

身体心理

B室

9/12(木) 登壇発表 10:15-10:45 ポスター発表 13:00-13:45

5B-01 遅延が道具における身体所有感に与える影響に関する調査

○宮路 大勇(名古屋工業大学), 舟橋 健司(名古屋工業大学), 谷田 公二(近畿大学)

5B-02 分身アバタを用いた自己との心理的距離の調節手法に関する検討

○畑田 裕二(東京大学), 吉田 成朗(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

5B-03 非人間型アバタを用いた身体所有感の生起に関する研究

○本多 諄海(大阪工業大学), 中泉 文孝(大阪工業大学)

5B-04 モーションベースの物理運動がユーザー体験に与える影響(2)

○葛生 真也(早稲田大学大学院), 柏 達晶(早稲田大学大学院), 河合 隆史(早稲田大学大学院)

5B-05 VRモーションベースの物理運動がユーザー体験に与える影響(1)

○柏 達晶(早稲田大学大学院), 葛生 真也(早稲田大学大学院), 河合 隆史(早稲田大学大学院)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

5B-06 身体運動感覚の伝承のための視覚提示手法

○宮下 史也(首都大学東京), YEM VIBOL(首都大学東京), 雨宮 智浩(東京大学), 笠松 慶子(首都大学東京), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学), 池井 寧(首都大学東京)

5B-07 VR環境下における方向認識の視聴覚統合

○高 培鐘(東京大学), 松本 啓吾(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 谷川 智洋(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

行動計測 / コンピュータビジョン

C室

9/12(木) 登壇発表 10:15-10:45 ポスター発表 13:00-13:45

5C-01 骨格運動に基づく機械学習を用いたギター演奏者の運指予測

○渡邊 一正(京都工芸繊維大学 デザイン経営工学過程), 森崎 汰雄(東京大学大学院 新領域創成科学研究科)

5C-02 民俗芸能と周辺環境アーカイブのための計測システムの開発

○志水 佑輔(室蘭工業大学), 柴田 傑(室蘭工業大学)

5C-03 Proposing a Hand-Tracking Device using a Tangential Force Mechanical Sensor

○倉茂 雄人(公立はこだて未来大学), マイケル ヴァランス(公立はこだて未来大学)

5C-04 歩行運動の移動型計測手法に関する研究

○湯浅 雄介(首都大学東京), 田村 秀貴(首都大学東京), Yem Vibol(首都大学東京), 雨宮 智浩(東京大学), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学), 池井 寧(首都大学東京)

5C-05 手指の位置予測を用いた空中触覚提示遅延の解消

○竹井 達哉(東京大学), 鈴木 颯(東京大学), 藤原 正浩(東京大学), 牧野 泰才(東京大学), 篠田 裕之(東京大学)

5C-06 多視点カメラ配置検討のためのVRインタフェース

○松原 尚利(筑波大学大学院), 北原 格(筑波大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

5C-07 高速指先姿勢推定に向けたネイルマーカーの試作

○末石 智大(東京大学), 石川 正俊(東京大学)

5C-08 Dynamic Projection Mappingのための輪郭に基づく反復計算によるロバストな位置姿勢推定

○森久保 優輝(電気通信大学), 橋本 直己(電気通信大学)

5C-09 博物館等の多数展示品を対象としたリアルタイム特定物体検出手法の開発

○松永 聖明(琉球大学)

5C-10 鏡像を用いた視野外物体の三次元位置推定

○谷口 智生(大阪工業大学), 中泉 文孝(大阪工業大学)

訓練・シミュレーション

D室

9/12(木) 登壇発表 10:15-10:45 ポスター発表 13:00-13:45

5D-01 VRを用いた人流シミュレーションにおける仮想群衆との相互作用の精緻化と知覚的效果

○徐 楚煒(横浜国立大学大学院環境情報学府), 岡嶋 克典(横浜国立大学)

5D-02 VRを用いた避難訓練とNPCの行動特性による避難行動への影響

○山本 和也(福岡工業大学), 石原 真紀夫(福岡工業大学)

5D-03 バーチャル火点を現実空間の任意の場所に配置できるAR消火訓練アプリの開発

○板宮 朋基(愛知工科大学), 平川 俊貴(愛知工科大学), 新聞 幹久(愛知工科大学), 近田 静也(愛知工科大学), 西部 連(愛知工科大学), 富田 祐規(愛知工科大学)

展示有

5D-04 VRによるパラグライダー飛行練習の可能性に関する考察

○竹村 治雄(大阪大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

5D-05 VRを用いた果樹ぶどうの摘粒指南システムの開発

○中澤 翔太(山梨大学)

展示有

5D-06 力覚デバイスによる仮想彫刻訓練システムの構築

○神原 利彦(八戸工業大学), 岩切 大知(八戸工業大学)

5D-07 渡し舟教習所始めました。

○向殿天晴(立教池袋高等学校), 林 幸希(立教池袋高等学校), 吉田翼(立教池袋高等学校), 三澤 尚輝(立教池袋高等学校), 銅金 遼人(立教池袋高等学校), 山崎 友也(立教池袋高等学校), 平本 碧飛(立教池袋高等学校), 齊木 利宏(立教池袋高等学校), 大日 蒼(立教池袋高等学校), 黒田 耕太郎(立教池袋高等学校) **IVRC**

ハプティクス—触覚転移 / 巧緻な操作

A室

9/12 (木) 登壇発表 10:45-11:15 ポスター発表 13:45-14:30

6A-01 顔面への吸引触覚提示における感覚提示手法の検討

○亀岡 嵩幸(電気通信大学), 今 悠気(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

展示有

6A-02 指先の触覚を背中に転移する高解像度触覚ベストの開発

○森山 多覇(電気通信大学), 高橋 哲史(電気通信大学), 梶本 裕之(電気通信大学)

展示有

6A-03 AR技術を用いたデバイス基準の拡張UIとのインタラクションにおける触覚提示部位の予備的検討

○小林 優人(株式会社メルカリ), 諸星 一行(株式会社メルカリ)

展示有

6A-04 編集機能付き触覚情報提示システムの開発

○東 真希子(日本放送協会 放送技術研究所), 半田 拓也(日本放送協会 放送技術研究所), 清水 俊宏(日本放送協会 放送技術研究所), 高橋 正樹(日本放送協会 放送技術研究所)

6A-05 爪上振動刺激を用いた指巧緻性向上手法の基礎検討

○唐 勳卿(筑波大学), 濱崎 愛(筑波大学), 橋本 悠希(筑波大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

6A-06 実物体とのインタラクションにおける手首への力覚の重量提示

○成宮 正隆(東京大学工学部計数工学科), 堀江 新(東京大学工学系研究科先端学際工学専攻), 稲見 昌彦(東京大学先端科学技術研究センター)

展示有

6A-07 手袋型電子的触覚透過システムによるギャップ幅知覚の評価

○伊藤 秀典(名城大学), 河合 秀樹(名城大学), 梶本 裕之(電気通信大学), 柳田 康幸(名城大学)

6A-08 視覚刺激と振動刺激を用いた位置情報提示手法の評価

○田中 聖紗(室蘭工業大学), 柴田 傑(室蘭工業大学)

6A-09 多様な形状知覚を提示するトルクフィードバックVRコントローラ

○橋本 健(東京大学), 吉田 成朗(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

歩行・移動

B室

9/12(木) 登壇発表 10:45-11:15 ポスター発表 13:45-14:30

6B-01 バーチャル障害物を用いたRedirected Walking手法の検討

○松本 啓吾(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 葛岡 英明(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

6B-02 旋回量操作型リダイレクション手法の検討

○水谷 純也(東京大学), 松本 啓吾(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 葛岡 英明(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

6B-03 強化学習を用いた回転量操作型リダイレクションコントローラの構築

○張 祐禎(東京大学), 松本 啓吾(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 葛岡 英明(東京大学大学院), 廣瀬 通孝(東京大学)

6B-04 HMDと電動車椅子を用いたバリアシミュレータの移動距離削減の基礎検討

○本岡 宏将(日本大学文理学部), 大河原 巧(日本大学文理学部), 呉 健朗(日本大学院総合基礎科学研究科), 大和 佑輝(日本大学院総合基礎科学研究科), 宮田 章裕(日本大学文理学部)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

6B-05 ロボット化した電動車椅子を活用したモーションプラットフォームの構築に関する研究

○畑中 拓(名城大学), 小田 理穂(名城大学), 笹井 大和(名城大学), 小玉 亮(電気通信大学), 目黒 淳一(名城大学)

6B-06 旋回歩行感覚を与える刺激提示手法に関する研究

○末田 岳(首都大学東京), 阪 直幸(首都大学東京), YEM VIBOL(首都大学東京), 雨宮 智浩(東京大学), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学), 佐藤 誠(首都大学東京), 池井 寧(首都大学東京)

6B-07 歩行感覚の生成における能動感と受動感に関する研究

○海野 みのり(首都大学東京), 清水 広一(首都大学東京), 雨宮 智浩(東京大学), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学), YEM VIBOL(首都大学東京), 池井 寧(首都大学東京)

6B-08 直進型トレッドミルによるLocomotion-Interfaceの評価

○阪下 凌大(工学院大学), 田中 久弥(工学院大学)

6B-09 Motion-Less VR: リアル身体の運動を必要としない全身没入型VRインタフェース

○望月 典樹(法政大学), 中村 壮亮(法政大学)

展示有

6B-10 グランドサーフィン

○浦宗 龍生(大阪大学), 大島 康太郎(大阪大学)

IVRC

視覚心理

C室

9/12(木) 登壇発表 10:45-11:15 ポスター発表 13:45-14:30

6C-01 周辺環境への気づきやインタラクションが可能なHMDに関する検討

○遠藤 勇(東北大学), 工藤 義礎(東北大学), 高嶋 和毅(東北大学), 藤田 和之(東北大学), 北村 喜文(東北大学)

展示有

6C-02 バーチャル空間における解像度制御を用いた視線誘導手法の提案

○横見 栄聡(奈良先端科学技術大学院大学), 大久保 雅史(同志社大学), 磯山 直也(奈良先端科学技術大学院大学), 酒田 信親(奈良先端科学技術大学院大学), 清川 清(奈良先端科学技術大学院大学)

VR 学会大会 講演プログラム詳細

6C-03 DMD プロジェクタにおける運動追従多値画像表示のためのバイナリフレーム更新手法の比較検討

○大城 和可菜(東北大学大学院情報科学研究科), 鏡 慎吾(東北大学大学院情報科学研究科), 橋本 浩一(東北大学大学院情報科学研究科)

6C-04 遠隔体験の臨場感向上手法に関する研究

○八木 龍之介(首都大学東京), 藤江 柁生(首都大学東京), 雨宮 智浩(東京大学), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学), YEM VIBOL(首都大学東京), 池井 寧(首都大学東京)

6C-05 HMDの解像度及びエイリアシングがユーザーの平衡に及ぼす影響

○尾山 拓也(岐阜大学)

6C-06 平衡計測実験におけるコントラスト, 表示輝度, 足元条件がHMDをつけたユーザーの平衡に及ぼす影響

○南部 志門(岐阜大学)

6C-07 重心動揺からみたリアリティと空間周波数帯域の関係

○三輪 光一郎(岐阜大学大学院)

医療・看護・スポーツ

D室

9/12(木) 登壇発表 10:45-11:15 ポスター発表 13:45-14:30

6D-01 食関連行動を反映した箱庭ゲームによるコミュニケーション誘発の基礎的検討

○與那原 響(東京大学), 西山 未央(三菱電機株式会社), 竹内 俊貴(東京大学), 鳴海 拓志(東京大学), 谷川 智洋(東京大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

6D-02 閉鎖空間の患者と家族を繋ぐ360°カメラを用いたシステム

○上甲 志歩(大阪工業大学大学院), 大須賀 美恵子(大阪工業大学), 多田 雄真(大阪国際がんセンター), 石川 淳(大阪国際がんセンター)

6D-03 患者の3DCGモデルと手術室の全天球画像を内視鏡姿勢に連動させた視覚刺激による内視鏡外科手術支援システム

○小川 真智子(明治大学), 福地 健太郎(明治大学)

展示有

VR 学会大会 講演プログラム詳細

6D-04 Virtual reality simulation for training of endonasal robotic suturing using multiple difficulty levels

○HEREDIA PEREZ Saul Alexis(東京大学)

展示有

6D-05 悪い、やっばつれえわ、生理痛

○麻田 千尋(甲南大学), 原 直弥(甲南大学), 東 直樹(甲南大学), 堤 琴里(甲南大学), 大塚 雄太(甲南大学), 合田 怜央(甲南大学), 石田 健太郎(甲南大学), 大森 和(甲南大学), 朝日 隆大(甲南大学)

IVRC

6D-06 歩行リスクレベルの推定結果に基づき負荷を調整するスクワットトレーニングシステム

○迫田航(広島大学大学院工学研究院), Tadayon Ramin(アリゾナ州立大学), Ramirez Antonio(広島大学大学院工学研究院), Das Swagata(広島大学大学院工学研究院), 岸下 優介(広島大学大学院工学研究院), 山本 征孝(広島大学大学院工学研究院), 栗田 雄一(広島大学大学院工学研究院, JST さきがけ)

展示有

6D-07 MR空間における高齢者の歩行様態とその影響

○池野 大悟(東京都市大学), 野田 茂穂(国立研究開発法人 理化学研究所), 宮地 英生(東京都市大学)

6D-08 下肢筋力増強を目的としたMRインラインスケートの開発

○西 尚登(大阪工業大学), 矢野 浩二郎(大阪工業大学)

展示有

6A-09 Prediction of ping-pong ball trajectory based on neural network using player's body motions

○陳 剣宇(東京大学), 森崎 汰雄(東京大学), 王安晟(東京大学), 牧野 泰才(東京大学), 篠田 裕之(東京大学)

講演オーガナイズドセッション (OS)

9/13 (金) 10:15-12:15

A室

7A 2020の身体性

ハプティクス研究委員会, 超人スポーツ研究委員会, テレイグジスタンス研究委員会

○黒田 嘉宏(筑波大学), 野嶋 琢也(電気通信大学), 古川 正紘(大阪大学), 近田 彰治(大阪大学), 江渡 浩一郎(産業技術総合研究所), SARAJI MHD Yamen(慶應義塾大学)

9/13 (金) 10:15-12:15

B室

7B VRアーカイブとVR美術・歴史教育

デジタルミュージアム研究委員会

○谷川 智洋(東京大学), 芳賀京子(東京大学 大学院人文社会系研究科)

9/13 (金) 10:15-12:15

C室

7C ギラギラ夏祭り2019 ~融けろVR~ 成果発表セッション

情報技術と文化の融合調査研究委員会

畑田 裕二(東京大学), 亀岡 嵩幸(電気通信大学), 中野 萌士(奈良先端科学技術大学院大学), 平尾 悠太郎(早稲田大学), ○鳴海 拓志(東京大学), 大谷 智子(東京藝術大学), 稲見 昌彦(東京大学)

9/13 (金) 10:15-12:15

D室

7D テレイマージョン技術の変遷と今後の動向

テレイマージョン技術研究委員会

○小木 哲朗(慶應義塾大学), 宮地 英生(東京都市大学), 江原 康生(京都大学), 石田 智行(福岡工業大学)

講演オーガナイズドセッション (OS)

9/13 (金) 16:00-18:00	A室
8A ARToolKit 20周年記念講演	
複合現実感研究委員会, 3次元ユーザインタフェース研究委員会	
○加藤 博一(奈良先端科学技術大学院大学), ○橋本 直(明治大学), ○蔵田 武志(産業技術総合研究所)	
9/13 (金) 16:00-18:00	B室
8B VRという夢	
VRと超臨場感研究委員会, 拡張認知インタフェース調査委員会	
○池井 寧(首都大学東京), 北崎 充晃(豊橋技術科学大学), 雨宮 智浩(東京大学), 櫻井 翔(電気通信大学), YEM VIBOL(首都大学東京)	
9/13 (金) 15:30-16:30	C室
8C アート・デザインを取り巻く未来の「研究会」のかたち	
アート&エンタテインメント研究委員会	
○笥 康明(東京大学), 渡邊 淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研究所), 緒方 寿人(Takram), 今野 恵菜(山口情報芸術センター), 藤井 樹里(東京大学), 藤波 秀麿(東京大学), 渡邊 英徳(東京大学), 岩井 大輔(大阪大学), 長谷川 晶一(東京工業大学), 馬場 哲晃(首都大学東京), 山岡 潤一(東京大学), 苗村 健(東京大学)	
9/13 (金) 16:00-18:00	D室
8D 高齢者運転事故問題とVR	
超高齢社会のVR活用研究委員会	
○上田 一貴(東京大学), 蓮花 一己(帝塚山大学), 佐藤 稔久(産業技術総合研究所), 稲見 昌彦(東京大学)	

展示オーガナイズドセッション (OS)

9/13 (金) 13:45-15:45 コアタイム

デモ会場

触ってはかるハプティクス

ハプティクス研究委員会

H-01 感圧導電シートとチップサーミスタを用いたグローブ型圧力・温度分布計測センサの無線化

○梶本 裕之(電気通信大学), 佐藤 克成(奈良女子大学), 外山 敬三(日本メクトロン株式会社), 吉原 秀和(日本メクトロン株式会社)

H-02 材質感次元を用いたVHI感の定量評価に関する研究

○小村 啓(名古屋大学大学院)

神経刺激インタフェースの最先端

神経刺激インタフェース研究委員会

N-01 神経刺激インタフェースの最先端

○青山 一真(東京大学), 河野 通就(株式会社バンダイナムコ研究所), 中村 裕美(東京大学), 高橋 哲史(電気通信大学), 玉城 絵美(早稲田大学), 北尾 太嗣(大阪大学), 安藤 英由樹(大阪大学), 廣瀬 通孝(東京大学)

嗅覚ディスプレイ大集合

香り・味と生体情報研究委員会

O-01 香りプロジェクタ：渦輪による香り搬送

○林崎 智和(名城大学), 渡辺 久馬(名城大学), 中野 拓哉(名城大学), 柳田 康幸(名城大学)

O-02 微細液滴吐出型嗅覚ディスプレイ

○有賀 安央衣(神奈川工科大学)

O-03 Smelling Screen：気流を利用してモニタ画面から漂う匂いを再現する嗅覚ディスプレイ

○松倉 悠(大阪大学), 石田 寛(東京農工大学)

O-04 黎明期の嗅覚ディスプレイ

○谷川 智洋(東京大学)

O-05 ウェアラブル嗅覚ディスプレイを用いた災害シミュレータの実演

○平澤 達也(東京工業大学), 羽生 雪子(東京工業大学), 赤羽 克仁(東京工業大学), 中本 高道(東京工業大学)

9/11 (水) 14:00-17:30

9/12 (木) 10:00-15:00

9/13 (金) 10:00-16:00

ポスター・デモ会場 A-D

K-01 株式会社ソリッドレイ研究所

K-02 クレアクト

K-03 株式会社アルゴ

K-04 株式会社三和機工

K-05 株式会社 エルザ ジャパン

K-06 株式会社 QD レーザ

K-07 ソフトキューブ株式会社

K-08 丸紅情報システムズ株式会社

K-09 日本バイナリー株式会社

K-10 株式会社エヌジーシー

K-11 株式会社スパイス



第27回 国際学生対抗

バーチャルリアリティコンテスト

一般学生部門予選大会・ユース部門本選

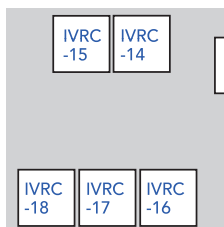
9/13 (金) 10:00 - 12:00 審査
12:00 - 15:45 展示一般公開

東京大学 本郷キャンパス 工学部6号館 3F セミナー室A-D

IVRC会場C室

IVRC room C

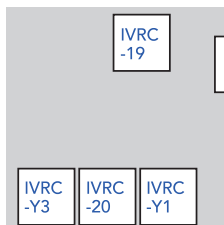
工学部6号館3階



IVRC会場B室

IVRC room B

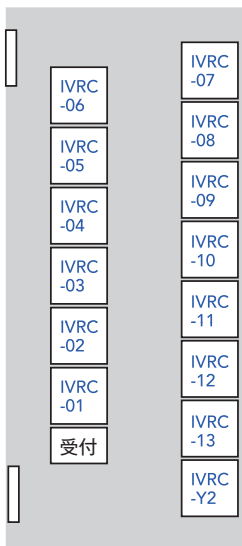
工学部6号館3階



IVRC会場A室

IVRC room A

工学部6号館3階



作品一覧

IVRC-01	2C-08	蠢刺青
チーム	彫師団 / 東北大学 電気通信研究所	
IVRC-02	3D-06	涙腺ダム
チーム	仙累ダム管理局 / 京都産業大学 コンピュータ理工学部	
IVRC-03	3B-01	ほおずり電話
チーム	スリスリ / 東京大学 UT-virtual	
IVRC-04	3B-07	触覚ステルスゲーム「シノビアシ」
チーム	ヌキアシサシアシ / 東京大学 UT-virtual	
IVRC-05	6B-10	グランドサーフィン
チーム	鯖缶 / 大阪大学 基礎工学部	
IVRC-06	4D-01	THE WALKING NEKKO
チーム	ユウマズ / 関西学院大学	
IVRC-07	1B-09	超・呼吸体験: VReath
チーム	ももまる / 慶應義塾大学 メディアデザイン研究科	
IVRC-08	1A-08	VR消防体験 - 炎舞 -
チーム	CyberSpaceLab / 筑波大学 システム情報工学研究科	
IVRC-09	1B-07	もっちゃぶる
チーム	餅は餅屋 / 慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科	
IVRC-10	3D-05	Tabletop ARrietty
チーム	借りぐらし / 東北大学 電気通信研究所	
IVRC-11	4B-09	チョコレート工場
チーム	チャーリー / 熊本県立大学 総合管理学部	
IVRC-12	2B-05	匣内ルービックキューブ
チーム	Solvers / 熊本県立大学 総合管理学部	

作品一覧

IVRC-13	4B-10	N-KOKUDO	チーム 稀代の人形師 / 大阪大学 大学院情報科学研究科
IVRC-14	6D-05	悪い、やっぱつれえわ、生理痛	チーム ふあふあ☆ゆーとびあ / 甲南大学 知能情報学部
IVRC-15	5A-09	ひらひらワープ	チーム チーム yume / 熊本県立大学 総合管理学部
IVRC-16	1B-08	きになるき	チーム チルドレン / 東京大学 大学院情報理工学系研究科
IVRC-17	1B-06	兎にも角にも	チーム Rabbit's~コーナーで差をつけろ~/ 神奈川工科大学 KaitVR
IVRC-18	2B-04	Re:born ~生まれる体験出産VR~	チーム Internal Space / 北陸先端科学技術大学院大学, 東京大学, 東京工業大学, 明治大学
IVRC-19	3D-03	バーチャル空間でつかまえて	チーム Mr. インビジブル / 大阪大学 大学院情報科学研究科
IVRC-20	2B-09	メリーさんの電話	チーム 稀代の人形師 / 大阪大学 大学院情報科学研究科
IVRC-Y1	5D-07	渡し舟教習所始めました。	チーム かつぞう、かわをわたる / 立教池袋高等学校 数理研究部
IVRC-Y2	2C-07	おかえり感覚	チーム AK チーズバーガーズ / 東京芸術大学 絵画科, 関東学院大学 理工学科
IVRC-Y3	4D-02	ねこ放題~もふもふを求めて~	チーム バステトの盾 / 慶應義塾大学 SVRC

実行委員

大会長	苗村 健	東京大学
プログラム委員長	長谷川 晶一	東京工業大学
プログラム委員	杉本 麻樹	慶應義塾大学
プログラム委員	南澤 孝太	慶應義塾大学
プログラム委員	渡辺 義浩	東京工業大学
プログラム委員	濱田 健夫	東京大学
幹事	鳴海 拓志	東京大学
幹事	牧野 泰才	東京大学
幹事	野間 春生	立命館大学
会場	青山 一真	東京大学
会場	脇坂 崇平	東京大学
会場	福嶋 政期	東京大学
Web	伴 祐樹	東京大学
Web	泉原 厚史	東京大学
出版	雨宮 智浩	東京大学
出版	吉元 俊輔	東京大学
広報	阪口 紗季	東京大学
会計	瓜生 大輔	東京大学
会計	杉浦 裕太	慶應義塾大学
技術・芸術展示	山岡 潤一	東京大学
技術・芸術展示	前川 和純	東京大学
技術・芸術展示	吉田 成朗	東京大学
企業展示	遠藤 恵一	株式会社ソリッドレイ研究所
企業展示	吉田 ひさよ	ヘキサゴンジャパン
企業展示	今村 伊知郎	株式会社ソリッドレイ研究所
IVRC	小泉 直也	電気通信大学
テクニカルツアー	小川 剛史	東京大学
テクニカルツアー	味八木 崇	東京大学
懇親会	葛岡 英明	東京大学
懇親会	ソン ヨンア	東京大学
担当理事	今村 伊知郎	株式会社ソリッドレイ研究所
庶務	野嶋 琢也	電気通信大学
事務局	和知 あゆみ	国際文献社
顧問	廣瀬 通孝	東京大学
ICAT-EGVE General Chair	稲見 昌彦	東京大学
ICAT-EGVE Program Chairs	筧 康明	東京大学
ICAT-EGVE Program Chairs	檜山 敦	東京大学

SAVE THE DATE

次年度予告

日時 2020年9月16日（水）～18日（金）

大会長 野間春生（立命館大学）
木村朝子（立命館大学）

場所 立命館いばらきフューチャープラザ
（大阪府茨木市岩倉町2-150）
<http://www.ritsumeai.ac.jp/futureplaza/>



ICAT International Steering Committee

Susumu Tachi	The University of Tokyo, Japan
Kiyoshi Kiyokawa	NAIST, Japan
Michitaka Hirose	The University of Tokyo, Japan
Ming Ouhyoung	National Taiwan University, Taiwan
Hyun Seung Yang	KAIST, Korea
Mark Billingham	University of South Australia, Australia
Haruo Takemura	Osaka University, Japan
Zhigeng Pan	Zhejiang University, China
Tony Brooks	Aalborg University Esbjerg (AAUE), Denmark
Yasushi Ikei	Tokyo Metropolitan University, Japan
Hideo Saito	Keio University, Japan
Sabine Coquillart	INRIA, France
Yoshifumi Kitamura	Tohoku University, Japan
Bruce H. Thomas	University of South Australia, Australia
Hirokazu Kato	NAIST, Japan
Gabriel Zachmann	University of Bremen, Germany
Carolina Cruz-Neira	University of Arkansas at Little Rock, USA
Anthony Steed	University College London, UK
Dirk Reiners	University of Arkansas at Little Rock, USA
Ross Smith	University of South Australia, Australia
Despina Michael-Grigoriou	Cyprus University of Technology, Cyprus

Organizers

General Chair	Masahiko Inami	The University of Tokyo, Japan
Program Chairs	Yasuaki Kakehi	The University of Tokyo, Japan
Program Chairs	Atsushi Hiyama	The University of Tokyo, Japan
Treasurers	Yuta Sugiura	Keio University, Japan
Treasurers	Daisuke Uriu	The University of Tokyo, Japan
Award Chair	Hiroyuki Shinoda	The University of Tokyo, Japan
Demo Chairs	Junichi Yamaoka	The University of Tokyo, Japan
Demo Chairs	Shigeo Yoshida	The University of Tokyo, Japan
Demo Chairs	Azumi Maekawa	The University of Tokyo, Japan
Planning Chairs	Maki Sugimoto	Keio University, Japan
Planning Chairs	Bing-Yu Chen	National Taiwan University, Taiwan
Venue Chairs	Kazuma Aoyama	The University of Tokyo, Japan
Venue Chairs	Shogo Fukushima	The University of Tokyo, Japan
Venue Chairs	Sohei Wakisaka	The University of Tokyo, Japan
Venue Chairs	Yasuko Otaki	The University of Tokyo, Japan
Venue Chairs	Yasuyuki Inoue	The University of Tokyo, Japan
Venue Chairs	Fumihito Kato	The University of Tokyo, Japan
Web Chairs	Yuki Ban	The University of Tokyo, Japan
Web Chairs	Atsushi Izumihara	The University of Tokyo, Japan
Publications Chairs	Tomohiro Amemiya	The University of Tokyo, Japan
Publications Chairs	Shunsuke Yoshimoto	The University of Tokyo, Japan
Technical Tour Chairs	Takefumi Ogawa	The University of Tokyo, Japan
Technical Tour Chairs	Takashi Miyaki	The University of Tokyo, Japan
Banquet Chairs	Hideaki Kuzuoka	The University of Tokyo, Japan
Banquet Chairs	Young Ah Seong	The University of Tokyo, Japan
VRSJ AC General Chair	Takeshi Naemura	The University of Tokyo, Japan
VRSJ AC Program Chairs	Shoichi Hasegawa	Tokyo Institute of Technology, Japan
VRSJ AC Program Chairs	Maki Sugimoto	Keio University, Japan
VRSJ AC Program Chairs	Kouta Minamizawa	Keio University, Japan
VRSJ AC Program Chairs	Yoshihiro Watanabe	Tokyo Institute of Technology, Japan
VRSJ AC Program Chairs	Takeo Hamada	The University of Tokyo, Japan

I-33 Preliminary Study on Surface Texture to Manipulate Perceived Softness of 3D Printed Objects

Motoki Miyoshi (Osaka University), Parinya Punpongsanon (Osaka University), Daisuke Iwai (Osaka University), Kousuke Sato (Osaka University)

I-34 Vehicle-Ride Sensation Sharing for Immersive Remote Collaboration with Vestibular Haptic Chair to reduce VR Sickness

Tsubasa Morita (Tokyo Metropolitan University), Vibol Yem (Tokyo Metropolitan University), Tomohiro Amemiya (The University of Tokyo), Yasushi Ikei (Tokyo Metropolitan University)

I-37 Expanding the Freedom of Eye-gaze Input Interface using Round-trip Eye movement under HMD Environment

Shogo Matsuno (Tokyo Denki University), Hironobu Sato (Kanto Gakuin University), Kiyohiko Abe (Tokyo Denki University), Minoru Ohyama (Tokyo Denki University)

I-38 Visual Presentation for Sports Skill Learning in VR

Fumiya Miyashita (Tokyo Metropolitan University), Tomohiro Amemiya (The University of Tokyo), Michiteru Kitazaki (ToyoHashi University of Technology), Keiko Kasamatsu (Tokyo Metropolitan University), Vibol Yem (Tokyo Metropolitan University), Yasushi Ikei (Tokyo Metropolitan University)

I-39 Augmented Dodgeball AR Viewer for Spectators

Shota Azuma (UEC), Clara Hertzog (UEC), Sho Sakurai (UEC), Koichi Hirota (UEC), Takuya Nojima (UEC)

I-40 VR Sickness Reduction in Stereoscopic Video Streaming System 'TwinCam' for a Remote Experience

Ryunosuke Yagi (Tokyo Metropolitan University), Toi Fujie (Tokyo Metropolitan University), Tomohiro Amemiya (The University of Tokyo), Michiteru Kitazaki (ToyoHashi University of Technology), Vibol Yem (Tokyo Metropolitan University), Yasushi Ikei (Tokyo Metropolitan University)

I-41 System for Body Motion Capture While Moving in Large Area

Yusuke Yuasa (Tokyo Metropolitan University), Hideki Tamura (Tokyo Metropolitan University), Vibol Yem (Tokyo Metropolitan University), Tomohiro Amemiya (The University of Tokyo), Michiteru Kitazaki (ToyoHashi University of Technology), Yasushi Ikei (Tokyo Metropolitan University)

Demo

Demo room

Friday, 13 September, 13:45-15:45

I-36 Narrowcasting for Stereoscopic Photospherical Cinemagraphy

Michael Cohen (Spatial Media Group, Computer Arts Lab.; University of Aizu), Takato Iida (Aizu Olympus Co., Ltd.), Rintarō Satō (Spatial Media Group, Computer Arts Lab.; University of Aizu)

Poster Wednesday, 11 September, 16:00-17:30

Poster room

I-3 Production of instructional videos using a virtual presentation room on a mobile head-mounted display

Kojiro Yano (Osaka Institute of Technology)

I-9 Difference of the Sense of the Texture Between Visual and Touchable Cloth Object in VR Space

Yoshio Tsukuda (Graduate School of Information Science and Arts, Osaka Electro-Communication University), Masanao Koeda (Graduate School of Information Science and Arts, Osaka Electro-Communication University)

I-11 Virtual remote view system in traffic jam using smartphone peer-to-peer image propagation

Shohei Miki (Nagoya Institute of Technology), Hiroataka Itoh (Nagoya Institute of Technology), Kenji Funahashi (Nagoya Institute of Technology)

I-13 Wider IPD makes people perceive their body to be not so large when large hands are presented

Daisuke Mine (The University of Tokyo), Nami Ogawa (The University of Tokyo), Takuji Narumi (The University of Tokyo), Kazuhiko Yokosawa (The University of Tokyo)

I-17 Visual Search of Interactive Gaze in a Virtual Environment: Detecting Eye Contact is Faster than Gaze Averting

Kyosuke Yamamoto (Toyohashi University of Technology), Michiteru Kitazaki (Toyohashi University of Technology)

I-29 Footstep Sound for Suppression of VR Sickness and Promotion of Sense of Agency

Reon Nashiki (Tokyo Metropolitan University), Vibol Yem (Tokyo Metropolitan University), Tomohiro Amemiya (The University of Tokyo), Yasushi Ikei (Tokyo Metropolitan University)

I-30 Generation of Walking Sensation by Upper Limb Motion

Gaku Sueta (Tokyo Metropolitan University), Naoyuki Saka (Tokyo Metropolitan University), Vibol Yem (Tokyo Metropolitan University), Tomohiro Amemiya (The University of Tokyo), Michiteru Kitazaki (Toyohashi University of Technology), Makoto Sato (Tokyo Metropolitan University), Yasushi Ikei (Tokyo Metropolitan University)

I-32 Airflow Presentation Method for Turning Motion Feedback in VR Environment

Yujin Suzuki (Tokyo Metropolitan University), Vibol Yem (Tokyo Metropolitan University), Koichi Hirota (The University of Electro-Communications), Tomohiro Amemiya (The University of Tokyo), Michiteru Kitazaki (Toyohashi University of Technology), Yasushi Ikei (Tokyo Metropolitan University), (Toyohashi University of Technology), Makoto Sato (Tokyo Metropolitan University), Yasushi Ikei (Tokyo Metropolitan University)

Session 5

Main hall

Friday, 13 September, 10:15-11:45

I-05 Authoring AR by AR: abstraction and libraries

Flavien Lecuyer (Univ Rennes, INSA Rennes, Inria, CNRS, IRISA), Valerie Gouranton (Univ Rennes, INSA Rennes, Inria, CNRS, IRISA), Adrien Reuzeau (Univ Rennes, INSA Rennes, Inria, CNRS, IRISA), Ronan Gaugne (Univ Rennes, Inria, CNRS, IRISA), Bruno Arnaldi (Univ Rennes, INSA Rennes, Inria, CNRS, IRISA)

I-07 Model and Tools for Integrating IoT into Mixed Reality Environments: Towards a Virtual-Real Seamless Continuum

Jeremy Lacoche (Orange), Morgan Le Chenechal (Open Mind Innovation), Eric Villain (Orange), Anthony Foulonneau (Orange)

I-19 ReallifeEngine: A Mixed Reality-Based Visual Programming System for SmartHomes

Ryohei Suzuki (Keio University), Katsutoshi Masai (Keio University), Maki Sugimoto (Keio University)

Session 4

Main hall

Thursday, 12 September, 13:00-14:30

I-08 **Virtual Ability Simulation: Applying Rotational Gain to the Leg to Increase Confidence During Physical Rehabilitation**

Tanvir Irfan Chowdhury (University of Texas at San Antonio), Sharif Mohammad Shahnewaz Ferdous (The College of New Jersey), Tabitha Peck (Davidson College), John Quarles (University of Texas at San Antonio)

I-10 **Interactive and Immersive Tools for Point Clouds in Archaeology**

Ronan Gaugne (Univ Rennes, Inria, CNRS, IRISA), Quentin Petit (Univ Rennes, Inria, CNRS, IRISA), Jean-Baptiste Barreau (Univ Rennes, CNRS, UMR 6566 CReAAH), Valérie Gouranton (Univ Rennes, INSA Rennes, Inria, CNRS, IRISA)

I-18 **Evaluation of a Mixed Reality based Method for Archaeological Excavation Support**

Ronan Gaugne (Univ Rennes, Inria, CNRS, IRISA), Quentin Petit (Univ Rennes, Inria, CNRS, IRISA), Théophile Nicolas (Inrap, UMR Trajectoires), Mai Otsuki (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)), Valérie Gouranton (Univ Rennes, INSA Rennes, Inria, CNRS, Irisa)

Full paper ■ Short paper ◆

I-22 Evaluation of Proxemics in Dynamic Interaction with a Mixed Reality Avatar Robot

Jingxin Zhang (University of Hamburg), Omar Janeh (University of Hamburg), Nikolaos Katzakis (University of Hamburg), Dennis Krupke (University of Hamburg), Dennis Krupke (University of Hamburg), Frank Steinicke (University of Hamburg)

Session 3

Main hall

Thursday, 12 September, 10:00-11:20

I-14 Rendering of Walking Sensation for a Sitting User by Lower Limb Motion Display

Kentaro Yamaoka (Tokyo Metropolitan University), Ren Koide (Tokyo Metropolitan University), Tomohiro Amemiya (The University of Tokyo), Michiteru Kitazaki (Toyoashi University of Technology), Vibol Yem (Tokyo Metropolitan University), Yasushi Ikei (Tokyo Metropolitan University)

I-16 Visuo-Haptic Interface to Augment Player's Perception in Multiplayer Ball Game

Yuji Sano (University of Tsukuba), Koya Sato (University of Tsukuba), Shiraishi Ryoichiro (CYBERDYNE, INC.), Mai Otsuki (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)), Koichi Mizutani (University of Tsukuba)

I-25 Real Time Remapping of a Third Arm in Virtual Reality

Adam Drogemuller (University of South Australia), Adrien Verhulst (The University of Tokyo), Benjamin Volmer (University of South Australia), Bruce H. Thomas (University of South Australia), Masahiko Inami (The University of Tokyo), Maki Sugimoto (Keio University)

ICAT-EGVE program details

Session 1

Main hall

Wednesday, 11 September, 10:15-11:45

I-20 Random-Forest-Based Initializer for Real-time Optimization-based 3D Motion Tracking Problems

Jiawei Huang (Tohoku University), Ryo Sugawara (Tohoku University), Taku Komura (The University of Edinburgh), Yoshifumi Kitamura (Research Institute of Electronic Communication, Tohoku University)

I-24 Automatic Labeling of Training Data by Vowel Recognition for Mouth Shape Recognition with Optical Sensors Embedded in Head-Mounted Display

Fumihiko Nakamura (Keio University), Katsuhiko Suzuki (Keio University), Katsutoshi Masai (Keio University), Yuta Itoh (Tokyo Institute of Technology), Yuta Sugiura (Keio University), Maki Sugimoto (Keio University)

I-27 FaceDrive: Facial Expression Driven Operation to Control Virtual Supernumerary Robotic Arms

Masaaki Fukuoka (Keio University), Adrien Verhulst (The University of Tokyo), Fumihiko Nakamura (Keio University), Ryo Takizawa (Keio University), Katsutoshi Masai (Keio University), Maki Sugimoto (Keio University)

Session 2

Main hall

Wednesday, 11 September, 14:00-15:30

I-12 Evaluation of Embodied Agent Positioning and Moving Interfaces for AR Virtual Guide

Nattaon Techasartikul (Osaka University), Phochara Ratsamee (Cybermedia Center Osaka University), Jason Orlosky (Cybermedia Center Osaka University), Tomohiro Mashita (Cybermedia Center Osaka University), Yuki Uranishi (Cybermedia Center Osaka University), Kiyoshi Kiyokawa (Nara Institute of Science and Technology), Haruo Takemura (Cybermedia Center Osaka University)

I-15 Evaluation of Virtual Reality Tracking Systems Underwater

Raphael Costa (The University of Texas at San Antonio), Rongkai Guo (Kennesaw State University), John Quarles (The University of Texas at San Antonio)



Forty Years of Telexistence —From Concept to TELESAR VI

Susumu Tachi

Professor Emeritus, The University of Tokyo

Susumu Tachi is Professor Emeritus at The University of Tokyo, where he currently leads several research projects on telexistence, virtual reality, and haptics, including ACCEL Embodied Media Project at Tachi Laboratory, Institute of Gerontology. He is the founding president of the Virtual Reality Society of Japan. One of his earliest scientific achievements, shortly after obtaining his Ph.D. from The University of Tokyo in 1973, was the invention of Guide Dog Robot, an intelligent mobile robot system for the blind. It was the first of its kind and came to be known as MELDOG. In 1980, Dr. Tachi invented the concept of telexistence, which enables a highly realistic sensation of existence in a remote place without any actual travel, and has been working on its realization ever since. Other achievements include Haptic Primary Colors, Optical Camouflage, and autostereoscopic VR displays such as TWISTER, Repro3D, and HaptoMIRAGE. He was the recipient of the 2007 IEEE Virtual Reality Career Award.



VR Center and Dawn of Service VR Research

Michitaka Hirose

Professor, The University of Tokyo

Michitaka Hirose is a professor of human interface and systems engineering in the Graduate School of Information Science and Technology, University of Tokyo. He was born in 1954 in Kamakura, Japan. He received BE, ME, PhD in Mechanical Engineering from the University of Tokyo, in 1977, 1979, 1982, respectively. Since then, he has been in several positions such as Associate Professor and Professor at the University of Tokyo. His research interests cover Multimedia, Human Interface and Virtual Reality. He is known as a pioneer of Japanese Virtual Reality research. He served as project leaders of many national R&D projects such as "Digital Museum", "Digital Public Art" and "Multimedia Virtual Laboratory". He was awarded with various prizes such as IEEE VGTC 2015 Virtual Reality Career Award, Tokyo Techno-Forum Gold Medal Prize and Okawa Publishing Prize etc.

Thursday, 12 September, 15:00 - 16:30

Main hall

3



How Niantic AR Unites People and Reality

Masashi Kawashima

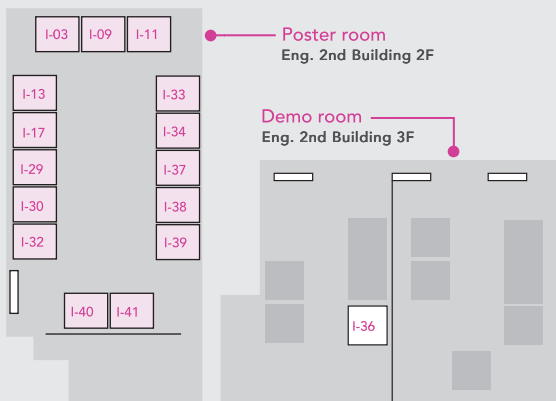
Director of Asia Pacific operations, Niantic, Inc.

Masashi Kawashima is Asia Pacific Director of Niantic, Inc. Niantic initially started as a "startup" within Google, and spun out from Google in October 2015. He joined Niantic Labs in 2013 as a UX/Visual designer and designed Ingress' visual and user experiences. Masa also contributed to the launch of a new ground-breaking project for mobile devices called "Pokémon GO", in which players can look for and capture Pokemon in the real world. After leaving Waseda University, he went to the United States in 2000. Joined Google in 2007 after working in Los Angeles and working in design production. He oversees the web design team in the Asia-Pacific, and for the first time in Japan, he designs "Doodle" in the world. At the time of the Great East Japan Earthquake, the Crisis Response Web Team was launched. In 2011, he moved to Google headquarters in the United States to manage the global team of consumer products web design.

Friday, 13 September, 9:00 -10:00

Main hall

Poster&Demo Map



1



Living in dream

Yuji Ikegaya

Professor, The University of Tokyo

1998 PhD. Graduate School of Pharmaceutical Sciences, the University of Tokyo, Japan
1998-2006 Assistant Professor at Graduate School of Pharmaceutical Sciences, the University of Tokyo, Japan

2002-2005 Postdoctoral Researcher at Department of Biology, Columbia University, USA

2006-2007 Lecturer at Graduate School of Pharmaceutical Sciences, the University of Tokyo, Japan

2007-2014 Associate Professor at Graduate School of Pharmaceutical Sciences, the University of Tokyo, Japan

2014-present Professor at Graduate School of Pharmaceutical Sciences, the University of Tokyo, Japan

Wednesday, 11 September, 9:00 -10:00

Main hall

2



Creative a Conceptual Design Thinking with three Design disciplines: Product, Interaction, and Service

Chien-Hsu Chen

Professor, National Cheng Kung University

Chien-Hsu Chen received the B.S. degree in industrial design from the National Cheng Kung University (NCKU), Taiwan, in 1987, and the master and Ph.D. degrees in computer & information science from Syracuse University, USA, industrial engineering from University of Texas at Arlington, USA, in 1992 and 1996, respectively. In 1996, he joined the Department of Industrial Design, Chang Kung University, as a Lecturer, and in 1997 became an assistant professor at Craft & Design Department of National Taiwan University of Arts. Since August 1998, he has been with the Department of Industrial Design, NCKU, where he was an assistant Professor, became an associate Professor in 2004, and a Professor in 2014. His research interests include ergonomics and interaction design, augmented reality application. He is a Life Member of the Ergonomic Society of Taiwan (EST), and the Taiwan Institute of Kansei (TIK). He was the Chairman of Industrial Design department at National Cheng Kung University from 2010 to 2013. From February 2015 to July 2016, he was the business dept. deputy of Research and Services Headquarters(RSH) at NCKU in Taiwan. On August 2016, he has in sabbatical leave for one year and he is the visiting researcher of Research Center for Advanced Science and Technology at University of Tokyo in Japan. Since August 2017, he is the Director general of Technology Transfer & Business Incubation Center(TTBIC) at NCKU in Taiwan.

Thursday, 12 September, 9:00 -10:00

Main hall

Time Schedule

ICAT - EGVE
2019

VRSJAC 2019
Posters and demos

Main hall

VRSJAC
poster and demo room

Thursday, 12 September

9:00-10:00	Keynote 2	
10:00-11:20	Session 3	
11:20-13:00	Lunch break	
13:00-14:30	Session 4	<p>Poster 5 A: Haptics - Thermal sensation B: Somato-psychology C: Behavior measurement & Computer vision D: Training & Simulation</p> <p>Poster 6 A: Haptics - Dexteros Manipulation & Transference B: Locomotion & Mobility C: Visual psychology D: Medical, Healthcare & Sports</p>
14:30-15:00	Coffee break	
15:00-16:30	Invited talk	
16:30-18:00		<p>Banquet Date: Thursday, 12 September, 18:00 - 20:30 Place: Kanda Myojin Hall</p>
18:00-20:30	Banquet (Kanda Myojin Hall)	

Friday, 13 September

9:00-10:00	Keynote 3	
10:00-10:15	Short break	
10:15-11:45	Session 5	Demonstration
11:45-13:45	Lunch break	
13:45-15:45	Demo session	Demo session (core time)
15:45-17:00		
17:00-18:00	Closing	

Time Schedule

ICAT - EGVE
2019

VRSJAC 2019
Posters and demos

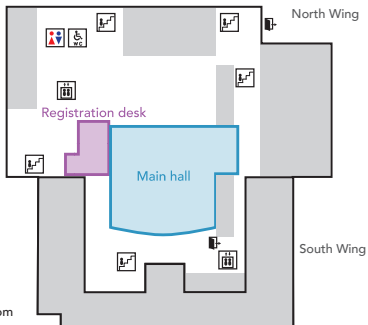
Main hall






VRSJAC
poster and demo room

Wednesday, 11 September

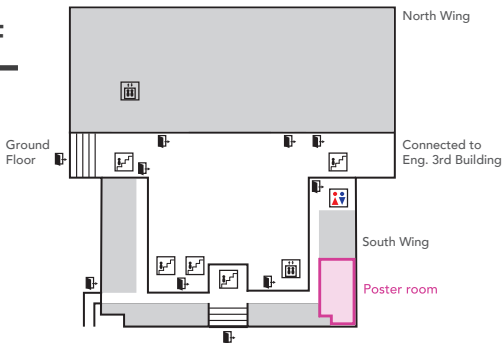
8:30-	Registration	
9:00-10:00	Opening Keynote 1	
10:00-10:15	Short break	
10:15-11:45	Session 1	
11:45-14:00	Lunch break	
14:00-15:30	Session 2	<p>Poster 1 A: Haptics - Pside haptics & Deep sense B: Human augmentation C: 3D displays D: Media & Design</p> <p>Poster 2 A: Haptics - Hardness, Softness & Impulse B: Haptics - Motion, Posture & Emotion C: Embodeid cognition D: Experience Simulator & Smell/Taste</p>
15:30-16:00	Coffee break	
16:00-17:30	Poster session	<p>Poster 3 A: Haptics - Tactile & Force Displays B: Haptics - Communication C: Display devices & Optics D: Mixed Reality & Entertainment</p> <p>Poster 4 A: Haptics - Friction & Sense of Textures B: Sensory transformation & Behavior change C: VR psychology D: Animacy & Agent</p>
17:30-18:00	Coffee break	
18:00-19:30	Technical tour (Hongo Campus, The University of Tokyo)	<p>Technical Tour Date: Wednesday, 11 September, 18:00 - 19:30 Place: Facilities and Laboratories in Hongo Campus, The University of Tokyo</p>

1F

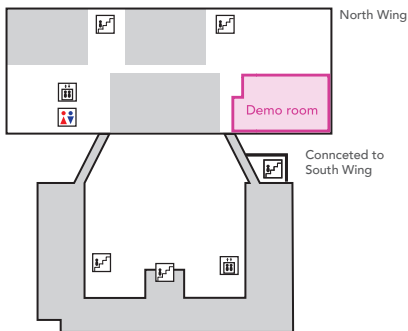


-  Entrance/Exit
-  Stairs
-  Elevator
-  Restroom
-  Accessible Restroom

2F



3F



Welcome to ICAT-EGVE 2019



General Chair

Masahiko Inami

On behalf of the committee of International Conference on Artificial Reality and Telexistence & Eurographics Symposium on Virtual Environments, it is my pleasure to invite all of the great researchers, engineers and students from all over the world to attend the conference from September 11-13, 2019 Tokyo, Japan.

ICAT is the oldest international conference on Virtual Reality and Telexistence, started in 1991. ICAT-EGVE is a traditionally-innovative conference. We are open to all who are interested in this field, such as virtual reality, robotics, computer graphics, haptics, multi-modality interactions, entertainment computing and e-sports.

<http://www.ic-at.org/about.html>

As a new challenge this year, the conference will be held jointly with the annual conference on virtual reality society in Japan (VRSJAC). The VRSJAC has more than 700 participants and will be held in Japanese. However, most presentations are in a poster-demo format, then you can explore cutting-edge VR achievements in Japan, and exchange research results and ideas in English as a matter of course.

Although the summer heat of Tokyo still remains in September, we welcome you to this conference and look forward to your participation. I hope you will have an exciting experience in ICAT-EGVE 2019 Tokyo.

CONFERENCE LOCATOR

ICAT-EGVE 2019

INTERNATIONAL CONFERENCE ON ARTIFICIAL REALITY AND TELEXISTENCE
EUROGRAPHICS SYMPOSIUM ON VIRTUAL ENVIRONMENTS



ICAT- EGVE

TOKYO

11-13 SEPTEMBER 2019, THE UNIVERSITY OF TOKYO, JAPAN



THE VIRTUAL REALITY SOCIETY OF JAPAN